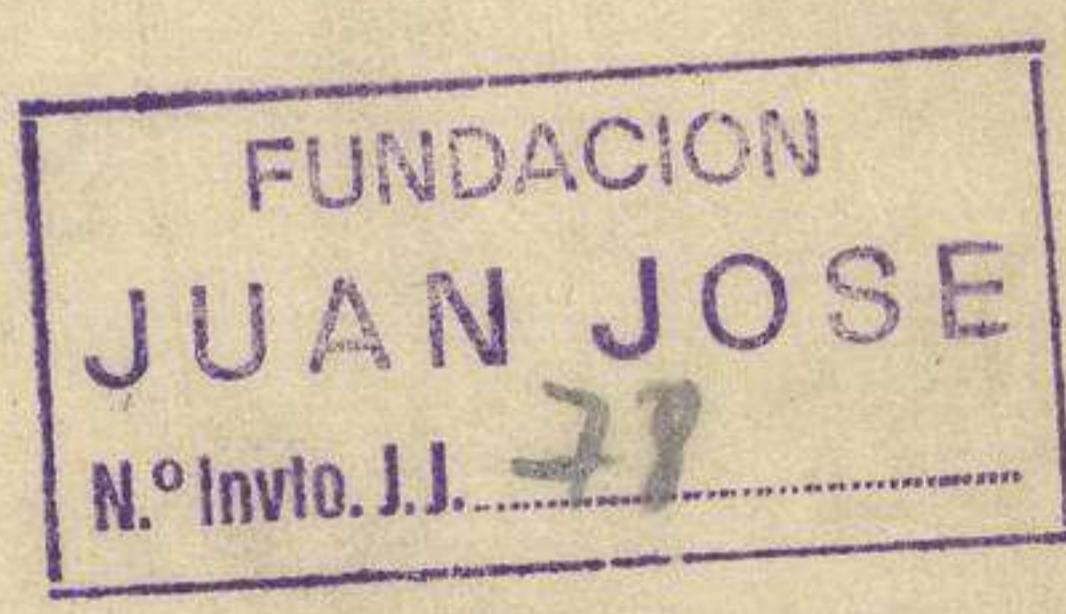


光信璽譜

下





MADRID-ESCRIBANA-JUAN JOSE-1933-13-66
MADRID-ESCRIBANA-JUAN JOSE-1933-13-66

1933
1933
1933



名 奴

花

新
板

香
鑑

全



元治元年
淫明敏

黒人賣劍

と試みと紀
と試みと紀

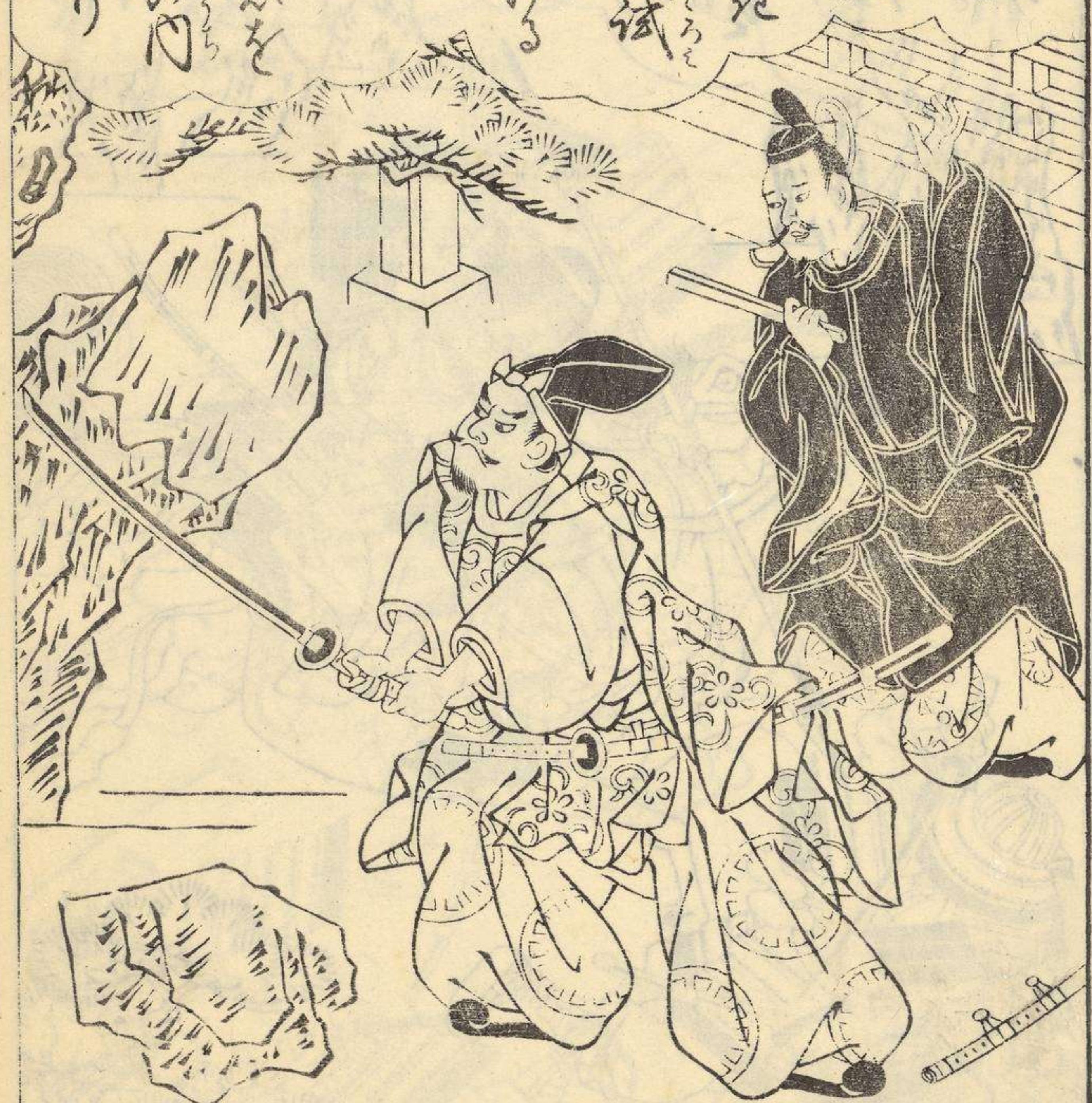
と試みと紀

源二位村政

に勅定あ

改義て墨を

そりあきの内



三そ
あらひ 義仲

の内よ已と

吹とて

乃女をふ

尉に大かき

一うあがるを

宇治川うせんこ

りと一軍



あてニ世をほとむ

やくんとわかせば

寛朝と女

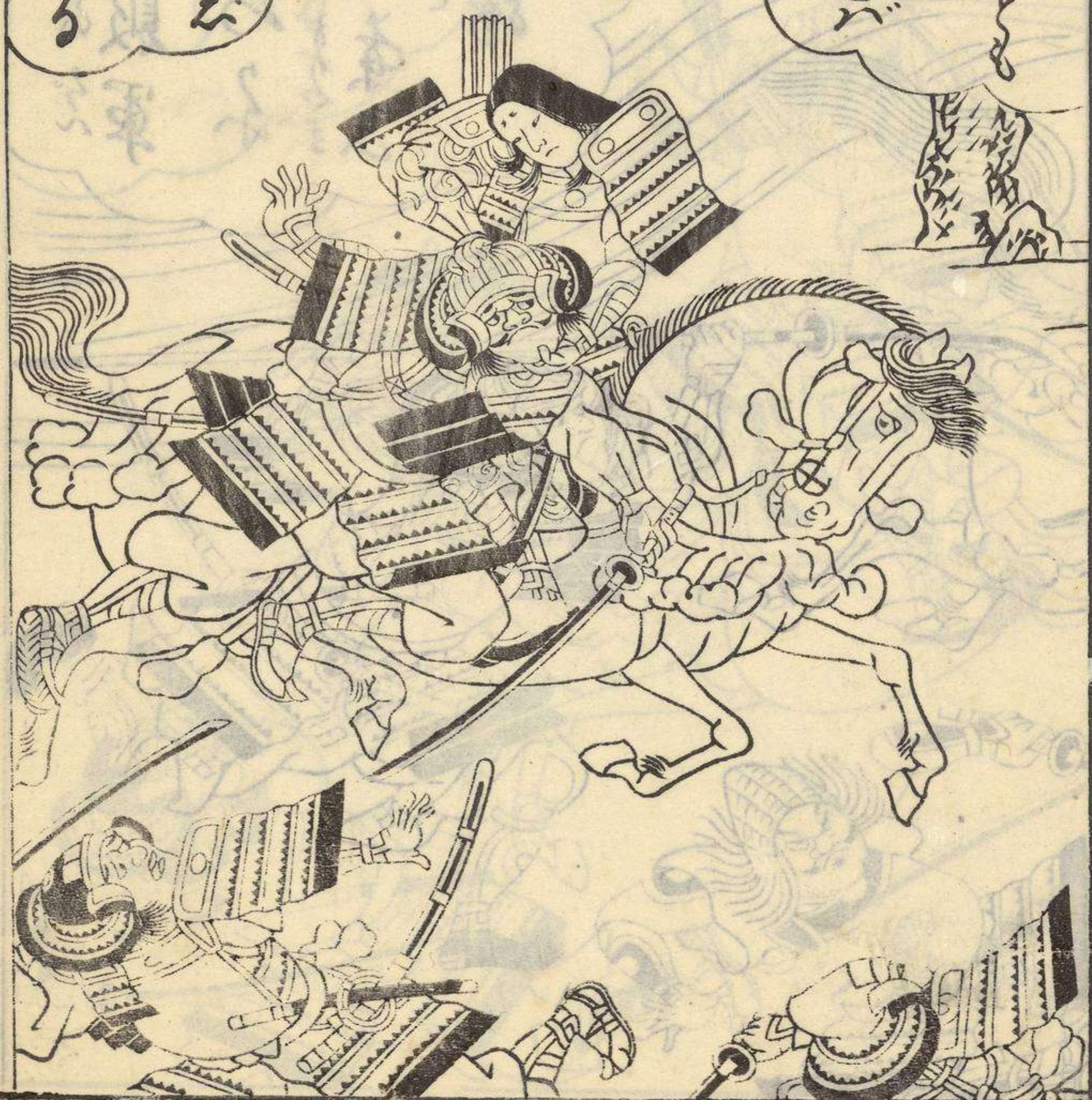
城列アリ

みとよとみ

かがよじぬ

故城アリよねま

首シもとしゆう



待賢門の敗軍

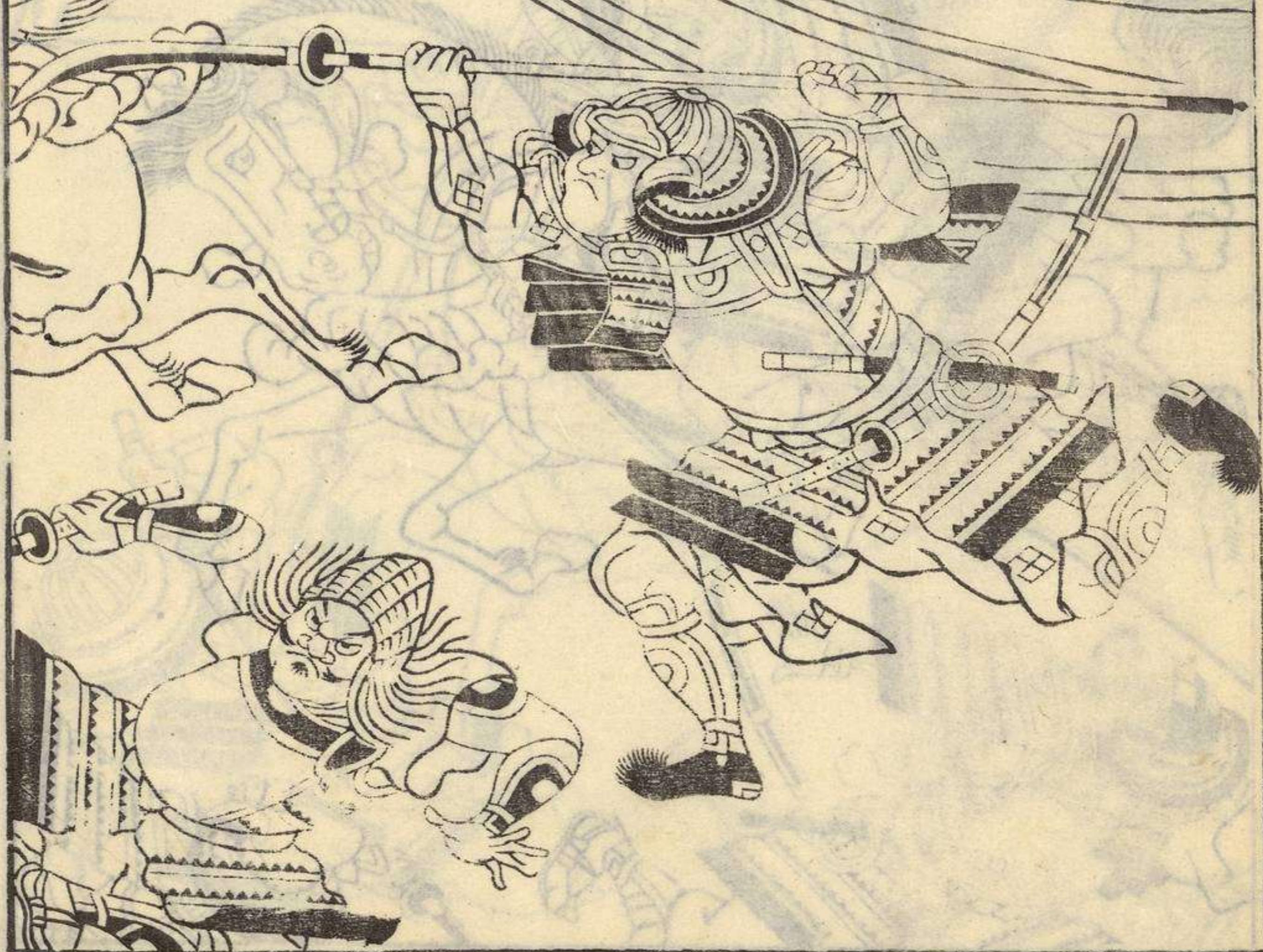
にわ胡もろづ
十三才江別無
をひと吸一吹

あらき

いみせ竹

大島主

ゆうじ





まことにゆくの

ゆきよーも

とこ
去候あがつ

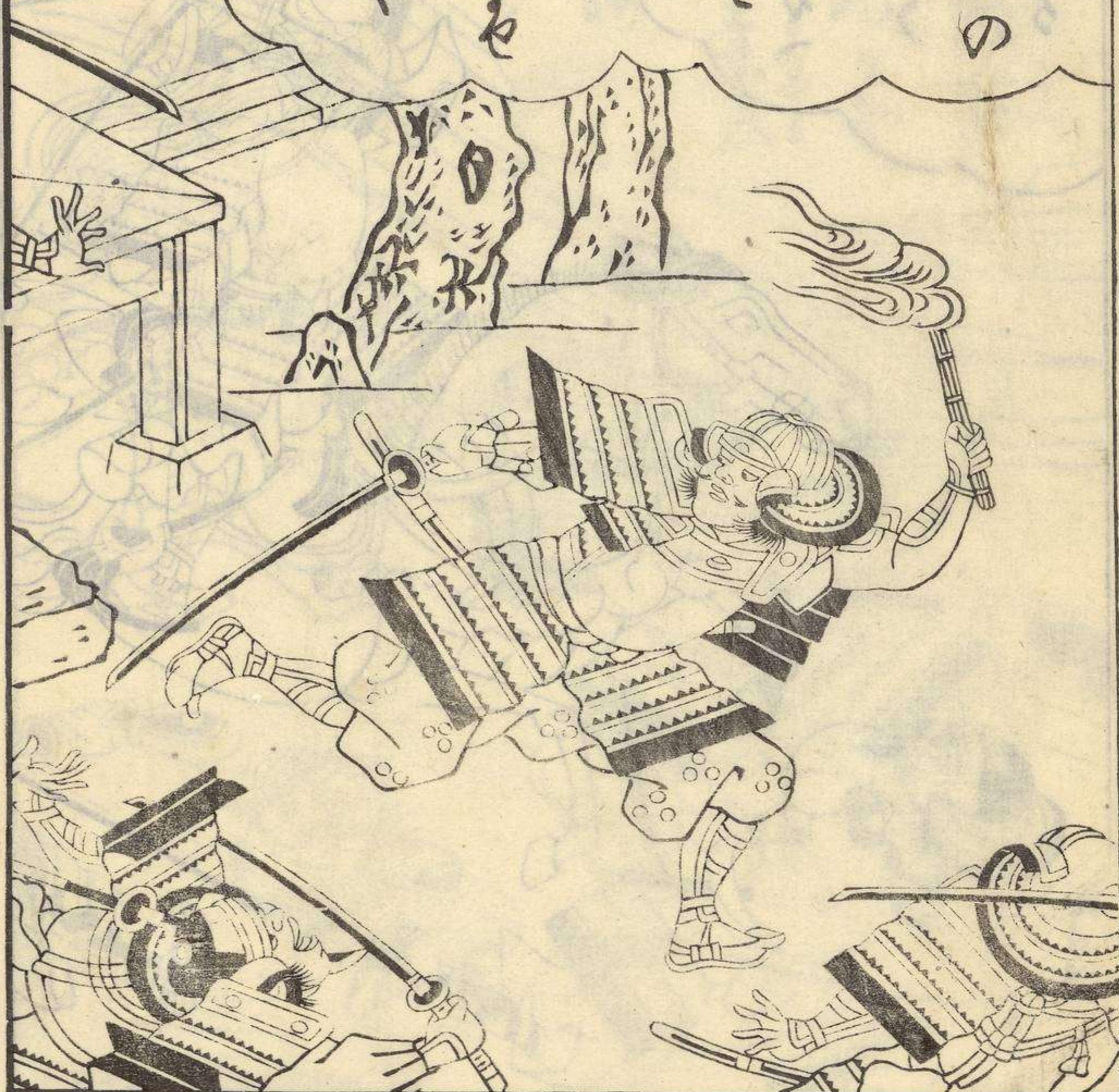
りのともちえ

よきとかよ

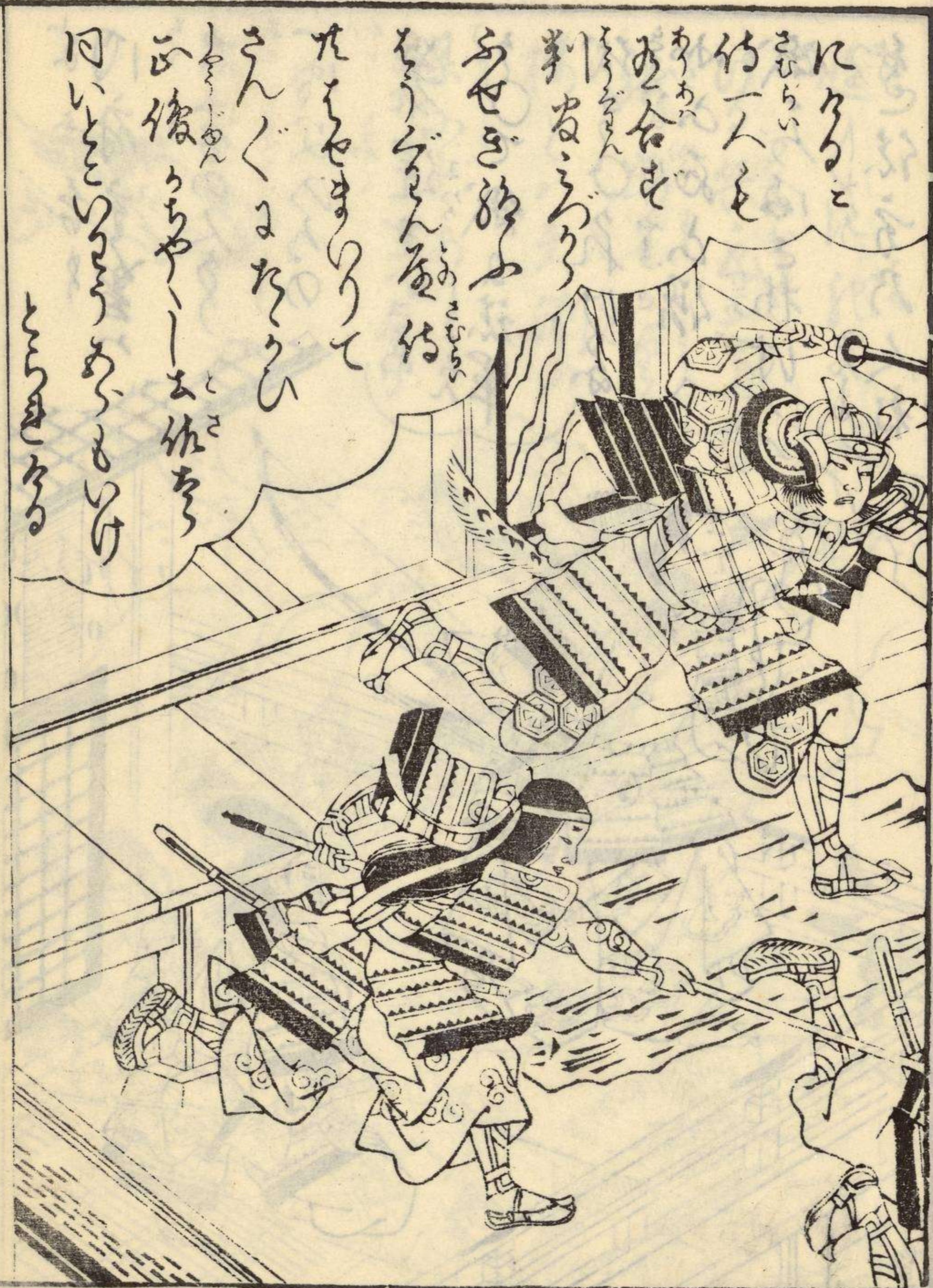
門からちく

がくらばの

あるとぞと



に
竹一人を
あみ合を
判友あらう
あせきぬ
まうぐくんを竹
たもせまつりて
さんくよたうひ
ふねうちやーは佐さ
曰いとひゆうあくとひ



10 府を出
さへ

おきの入り

一門のもの

暴連を止め

とて俄は法軍

伏見のれけふ

かわひあひ強

城らぬとあは

き方乃人ね



近くに紀さん

つるのまき
けり 無丸二万余

橋を渡り
謀みどり
とへ天御の



る余の官

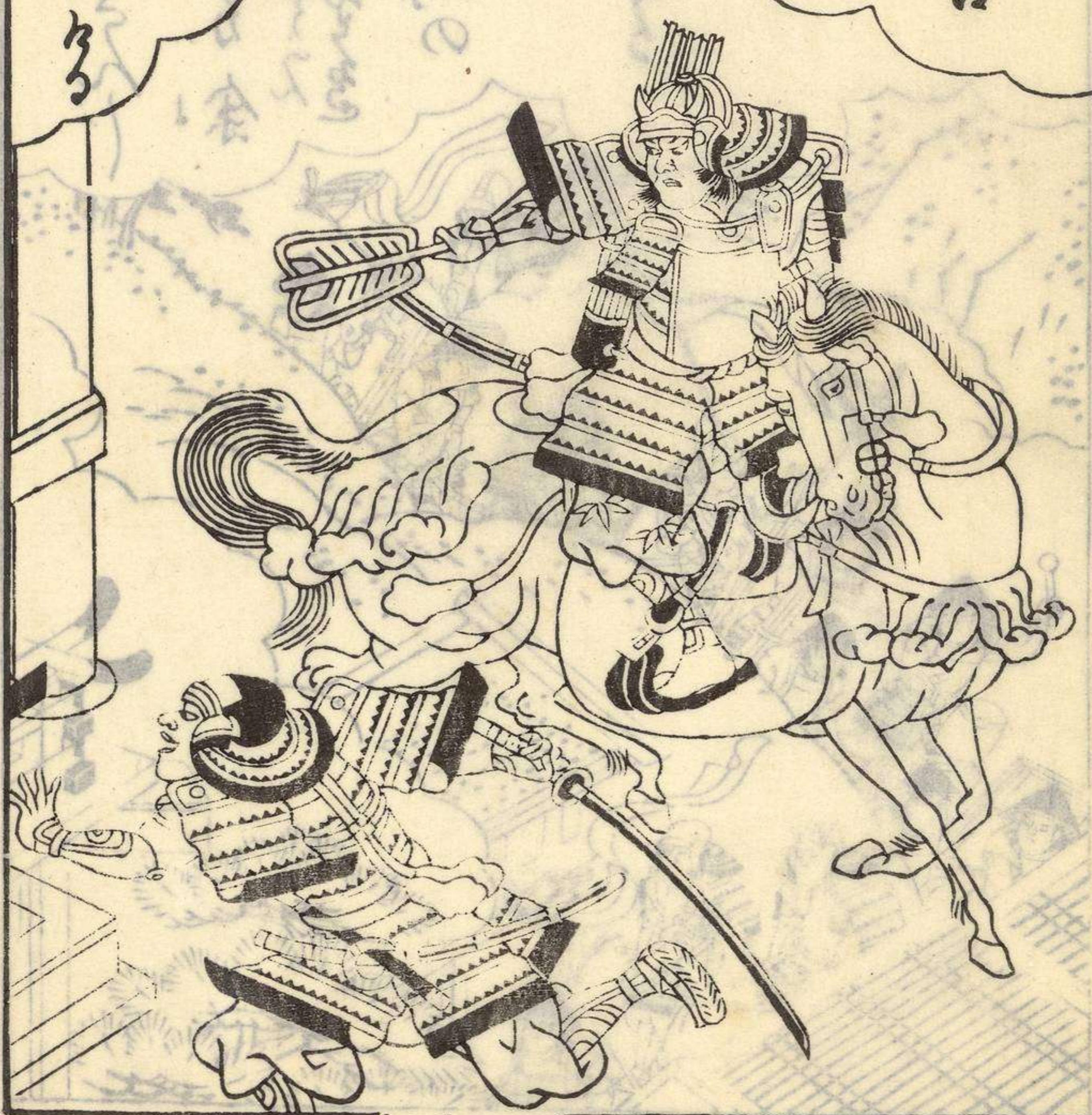
あをひ

武士もあ

ひてを

よを

とみのて



城主の侍

もやくの仕事

まとも

まらさんと

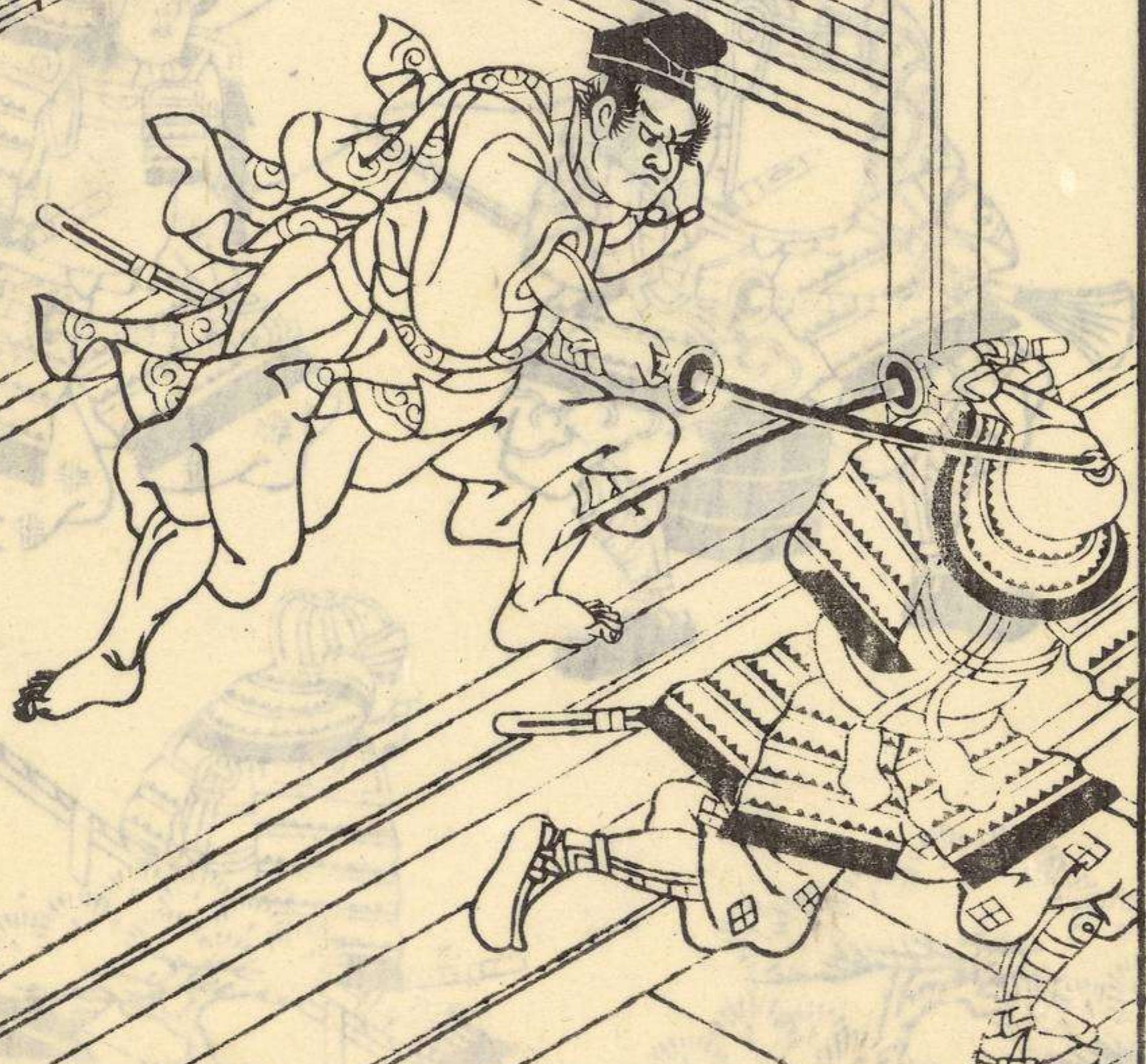
太勢のまく

かくへ豪強

のあさまの窓

お孝子

とそ



彩胡

が取られた

ひやれい

！なす

金子力郎



もくさんするものと
判官の義経と続

まづうこ十萬をり

ほき奥列より

もやさんじう

とそ嘗半にうれ

しりべお胡

あ波の松

もとわくと

らきゆる



まさんさん
越あ云往

通雲へ

孫のさう在

まと小室

相のつがひと

まひもと

まきづれまく

絶えまとも



甲冑をして通ぢ
いはにそらと
よどりくま
おとひを
軍の時もつまむ
いやとひづかし
げこよちいよかと
よあへてく用意
ざれき



圖書室





無事ありあんれ承へ

蓬莱島海より歸る

至とくとおひ名よへ

食りとうどうぶとやつよひ

陽子とてひとり徳の男

更まめとくこゆきりたく

スルかうくんのおより

さるじよ陽

こそほせのかう

ばせんとよ

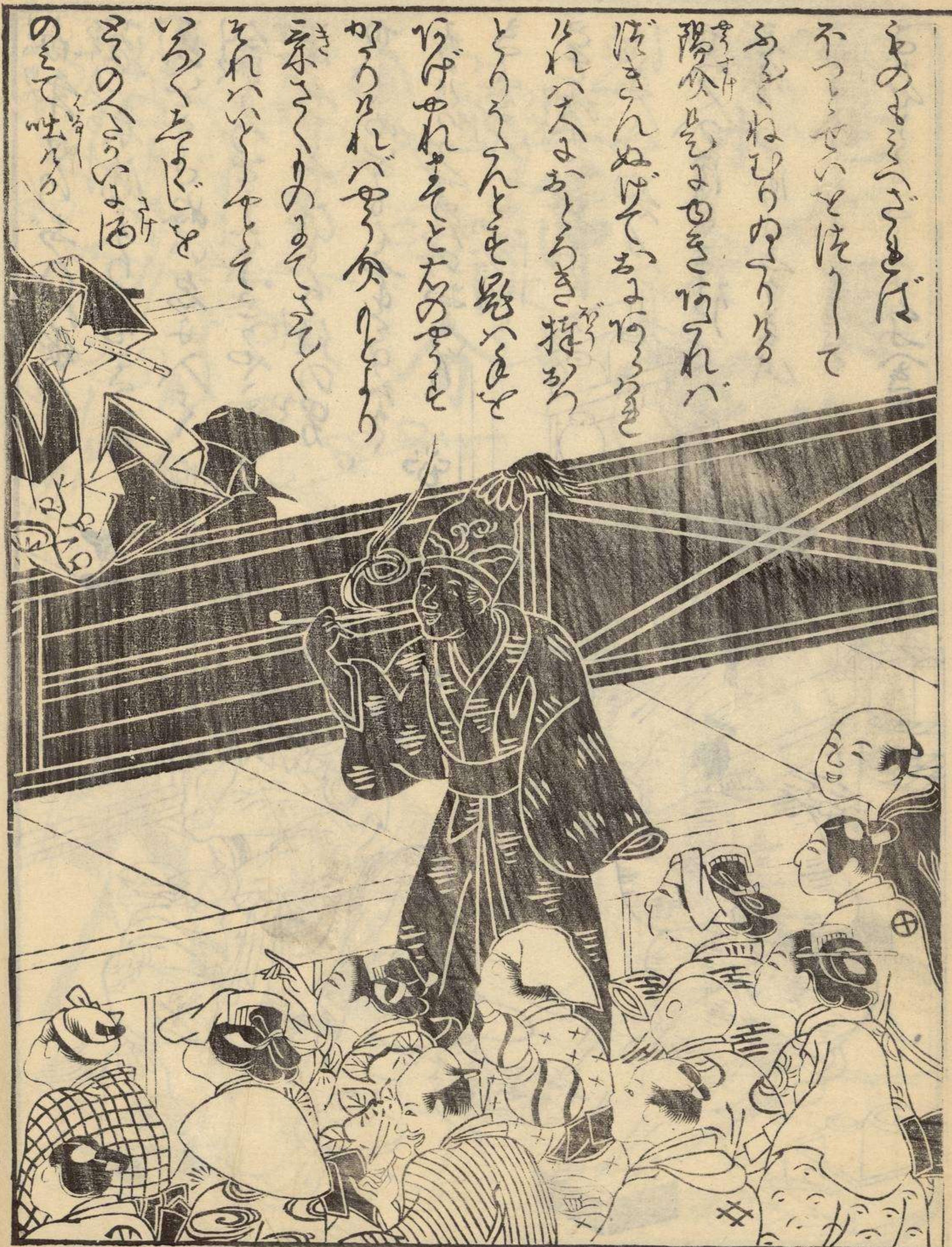
ゆく人の向かひ

えのゆかえりよひ

かすへてよくよ

さをとよよ





まのまことかくさば
不つこやいとほりて
あそねじりぬうり
陽ひもよひにれ
ほさんぬげちよわき
れんすあくちき持
とくくみとを歌ひと
わせれそとむかうと
がりれやくかひとより
まくまよてまく
あれへやくと
らくよじと
きのこよる





ぼくとまきこ

ハアノコハシナキ

ヤセヨギリヨタウ

トウミナラム

ミムルムカシ

マムシナリヒシ

ムヌハシナリヒシ

カクシムトウチム

モクモハキアシム

リムラウムテマシム

トハクスラムトナム

キガルハシナム

ゼンゼンカシキ

トヤシムドツムテ



おひるまつりあつ
と

つべこはんまつりあつ
と

とみむまつりあつ
と

とくじまつりあつ
と

えうまつりあつ
と

さんせきまつりあつ
と

ひまよなまつりあつ
と

めぐらまつりあつ
と

くさまつりあつ
と

おひらまつりあつ
と

きくまつりあつ
と

あんまつりあつ
と

めぐまつりあつ
と

ちのまつりあつ
と



まつよこりよ

さうあうば

ゆう、とやうせ

先どん多う宿を

おびわらあくわ

うひる

静やうれ

今日のこらう

せうとや

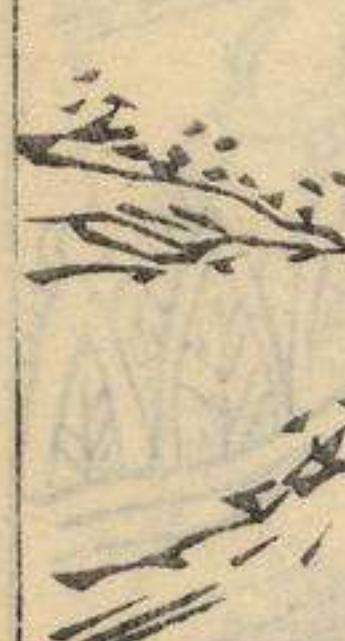
かみ

りく殺すと

あきと
えん

てととせばやうせうけれ

まつよこりよ





ヤアランハヒヨウジミ
ヨリカセタラサモモト
リカセタラサモモト
マハシキヨウミ
ヨリカセタラサモモト
マハシキヨウミ
ヨリカセタラサモモト
マハシキヨウミ
ヨリカセタラサモモト
マハシキヨウミ
ヨリカセタラサモモト
マハシキヨウミ
ヨリカセタラサモモト
マハシキヨウミ
ヨリカセタラサモモト
マハシキヨウミ

まごよなる時
やかましとりち
さうちぬよほり
りげせすとみづ
よりりうへふあう





めうへうがむをう
うちであきこつもと
けうそとた風う
ちうよのうまぞみ
たとひかゆく
かのへこくまうう
を序よ健てと
おまづりの
ゆうか
まうよけえと
のよめやうか
まようか
まわる

つらよはまんとやまと

さりとねてせんぐん

きみ伝のゆゑ

よきのじめ

こゝとさんまつ

いやまことく

わくとくよ

かららうやまと

くにひづるより

時、波奈のをまと

そりとひきくわののた

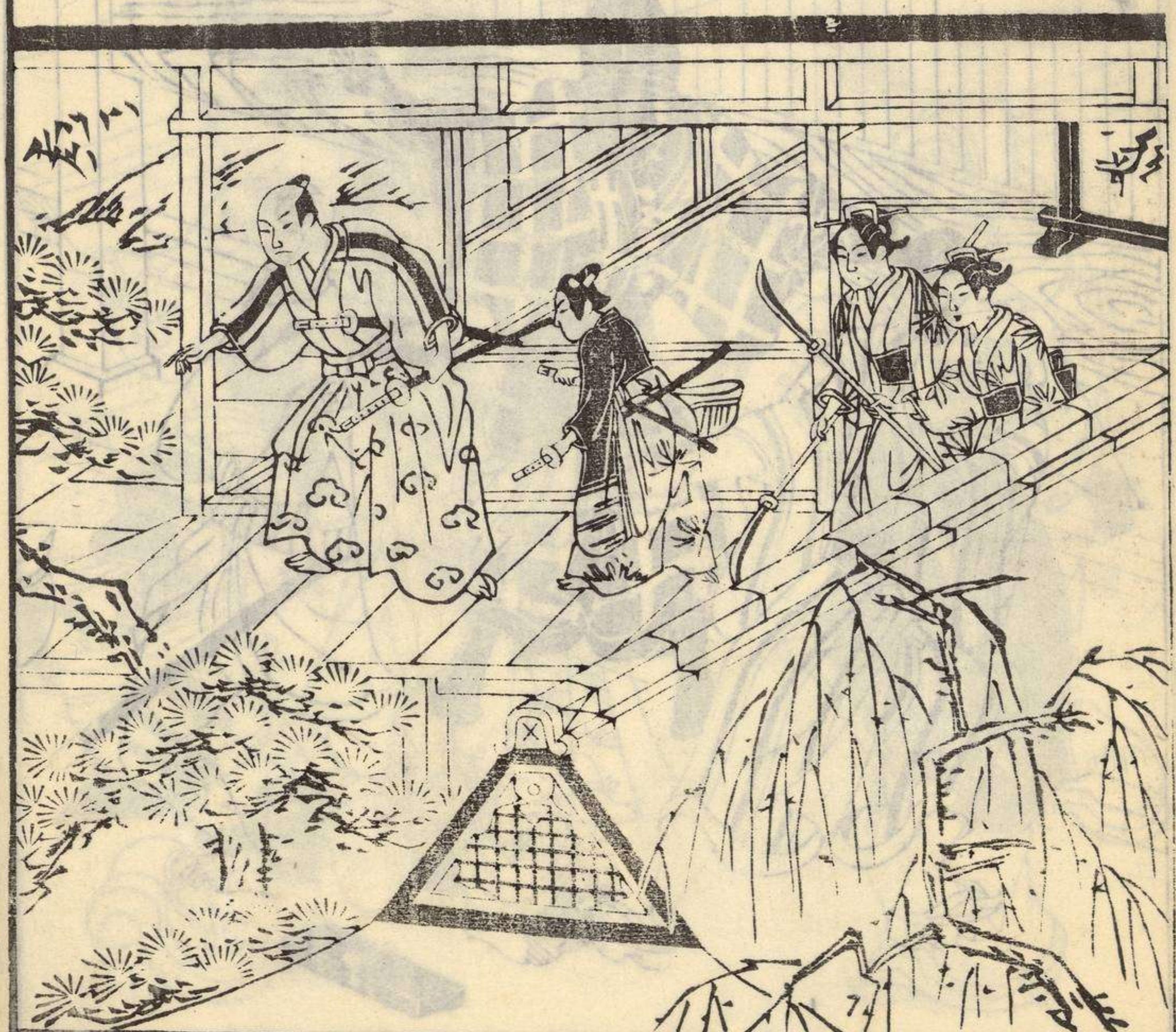
よこせハ月かくをわふ

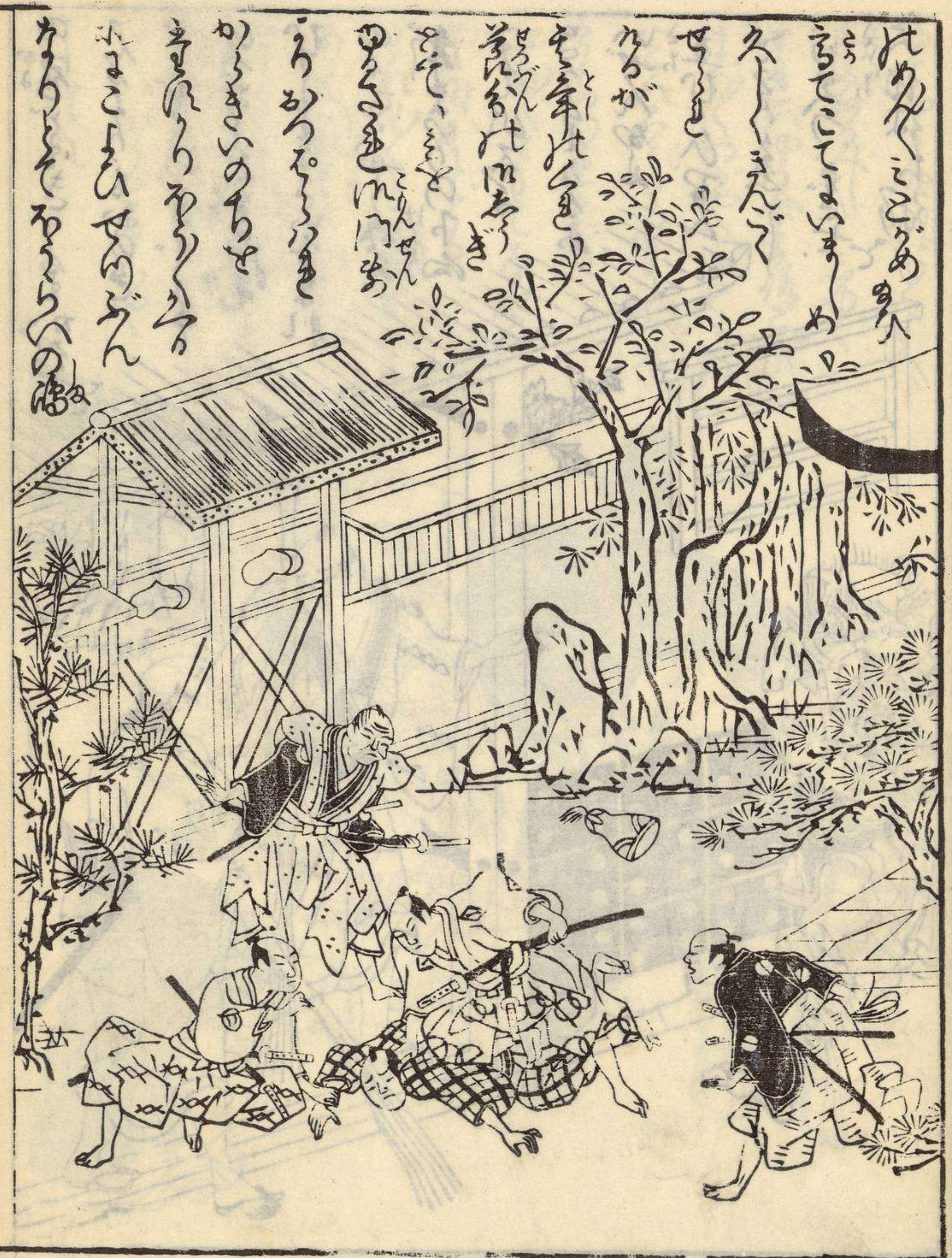
よとくわがき行ゆ

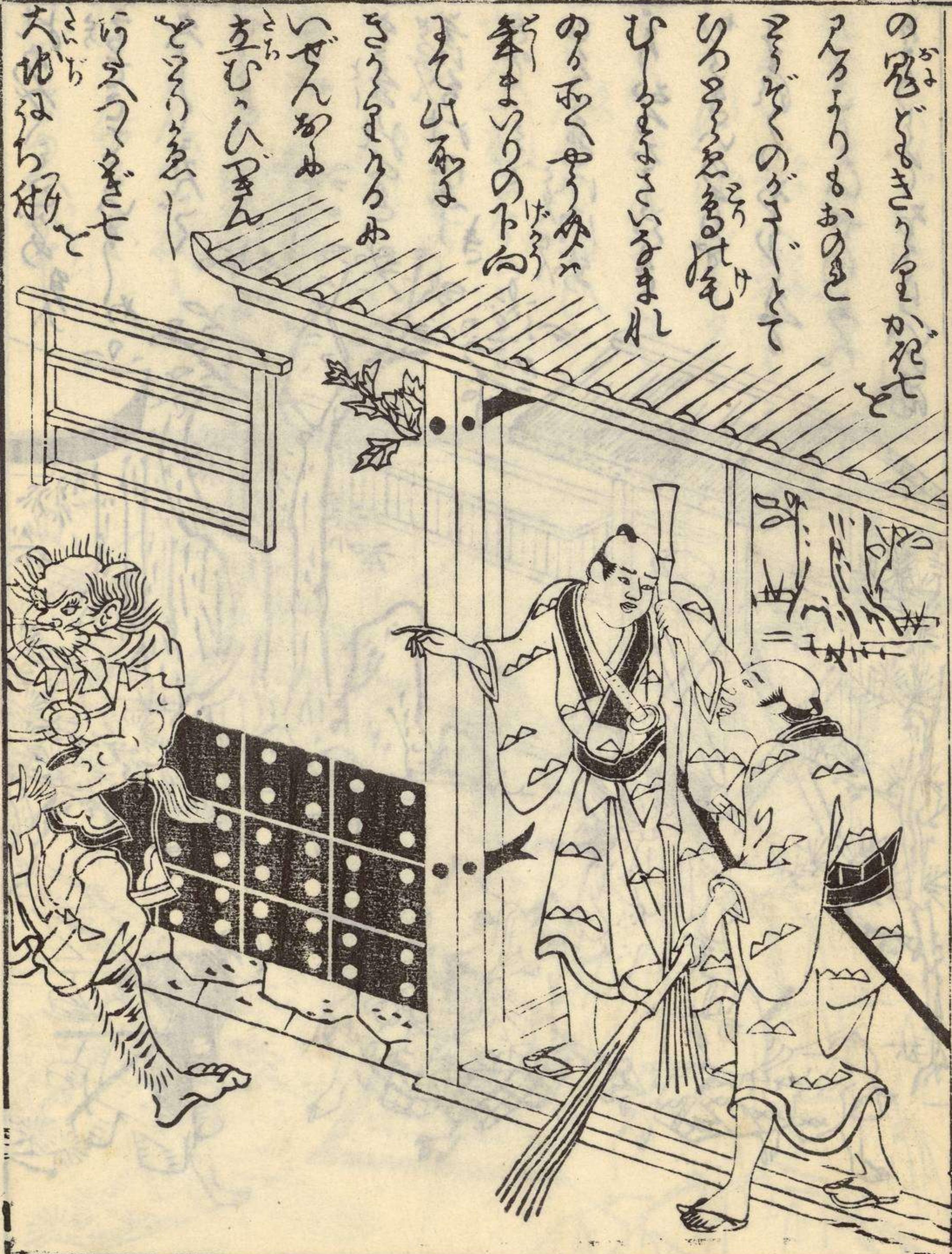
かくううさまともくぞ



こゝろがいやかのきそと
かれうそをうそとてさへ
とあらあやくへ鼻とて
ちき身とひばライタく
あれんさんなぬと
うちかんづくらひ立人
せん一氣すなうとくさ
わととととまへ
うがうめめめめめ
あくゆみれよ
こうこうけいじく
うちん本の技う
ばさんかくと
ねげりるゆゑ







そやう女がります
まゆふとあく
すきやかにほひ
まぐわへはまば
さんをませみゆ
うちつきうり
ゑどりをあ
すけがよどむ
あれどとおと
あえぬものあと
すよりりゆく
模なれーとよ
とハツラタガ





。都上様よ

す、先うこま

かんさき

えんをれせんへ

もういて、あんうれく

一おまと

こよ二おもと

月乃生る

まゐるよち方を

よやう刀とく

かひすり抱くね

ききのうそく

こひくはぐく

こひくぬぐく



奉事代へおでゆき

おぬとわこのふくに

ほにみまつり

金糸でああく

おおきこゑふ

うろはとゆて

かねはく

かてあき

まとひじ

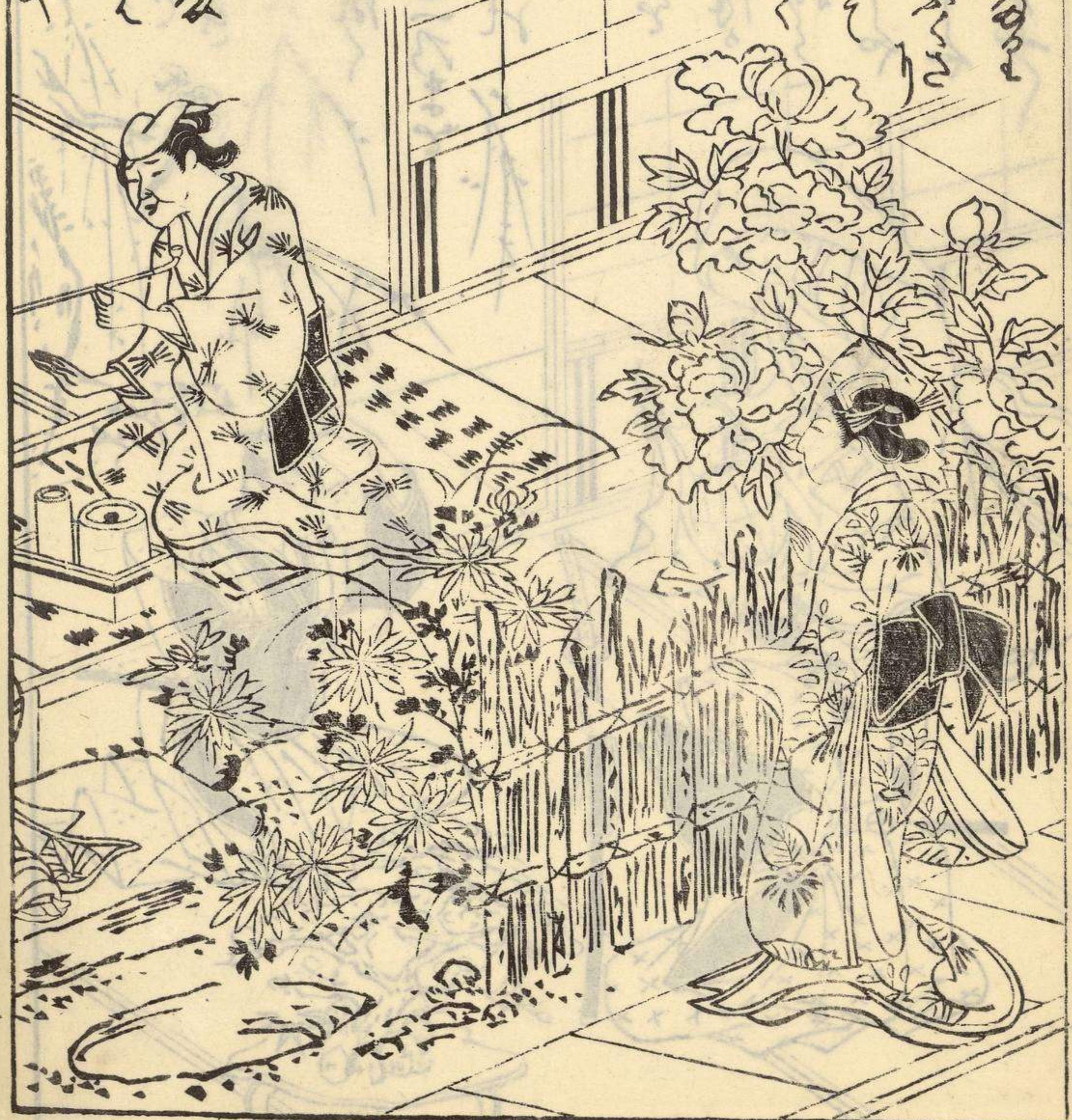
たと性み

うけさりやに

○ひうへ船ゆる

おんぐさんれど

おおややんや



新圖

えのや

りべ

トホミ

うき

のあらとすのきをこ

たはのめくら

ひよそむく花の

おねがひを飯

きくぬゑ

つるぎに後水の

せうじゆ

くよせかす

こもくみくす



男の子でうぶだ
やうてある

うかてはくら
うひきうらまけ

うかてはくら
うひきうらまけ

うかてはくら
うひきうらまけ

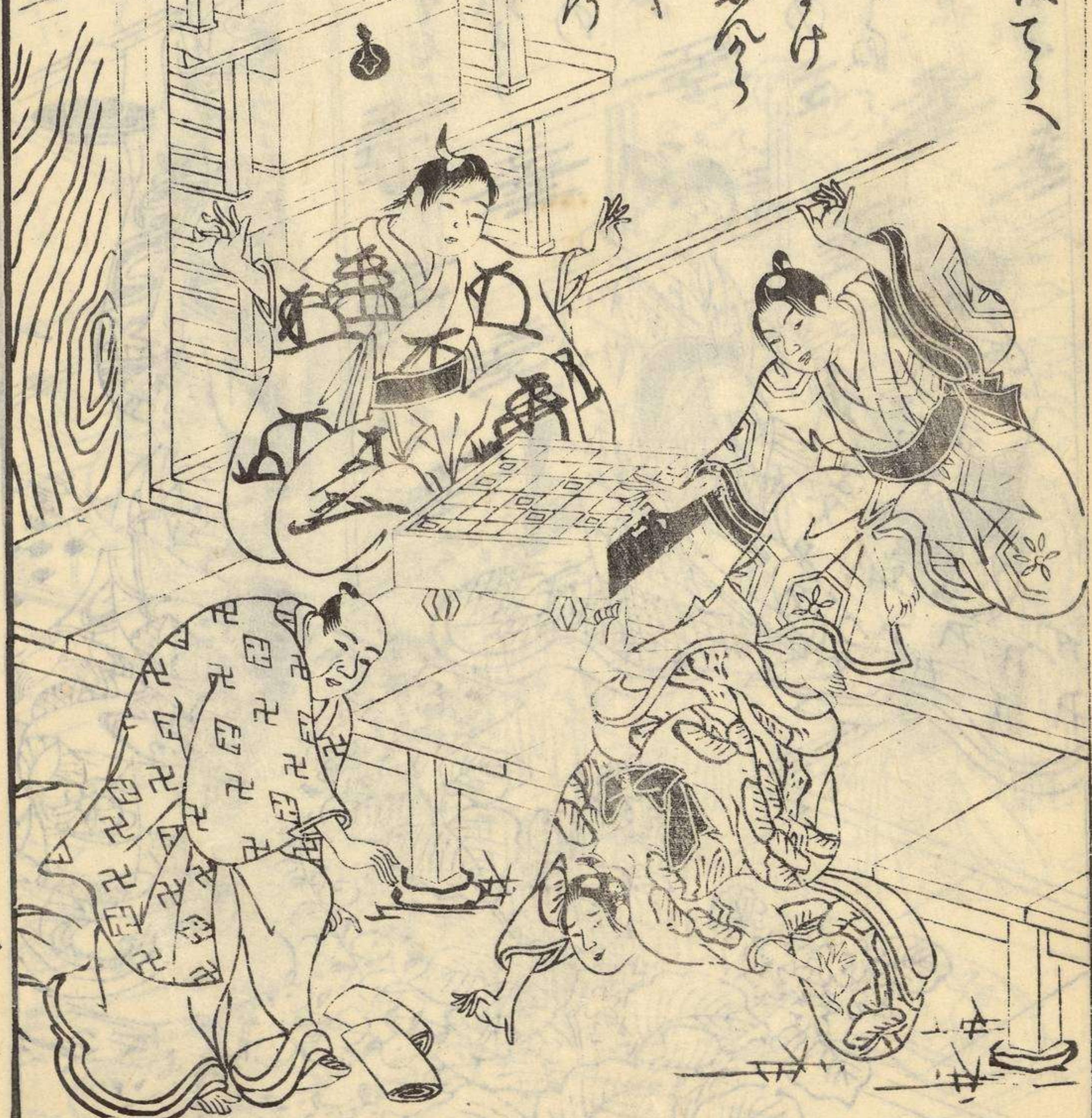
うかてはくら
うひきうらまけ

そよや雅う

大坂ぐ

町筋ぐ

がさうふと
ねじりよんて



こひきをも

さうかく
あちうそひて

まめがくせ

こまなよよせ

川へなぞ

かまくらゑを

まよてうんて

はじみとよぎよ

かけとよぎよ

まく

アニカニイよ

アーニー

アーニー

○鶯





東風さん

花よみご

かくは紀

あそ

金縫さん

とねすき

さりと

かくまとあつた

やうき

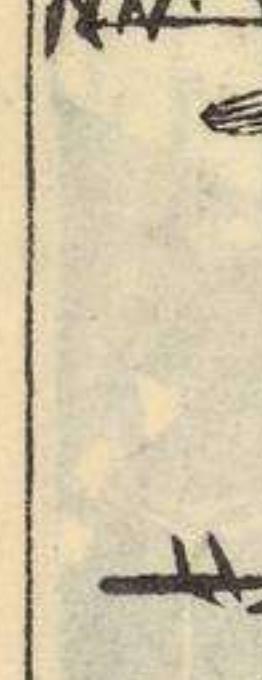
とくまくわ

なようかれ

かく

かく

かく



なよとれし

ごさぬ

アマシ影

ふ松のそつ

ハツカ

食ふよひ

すい

一年

そぞう

あらび

二歳はつ

もと

えみを

こ年三月れ

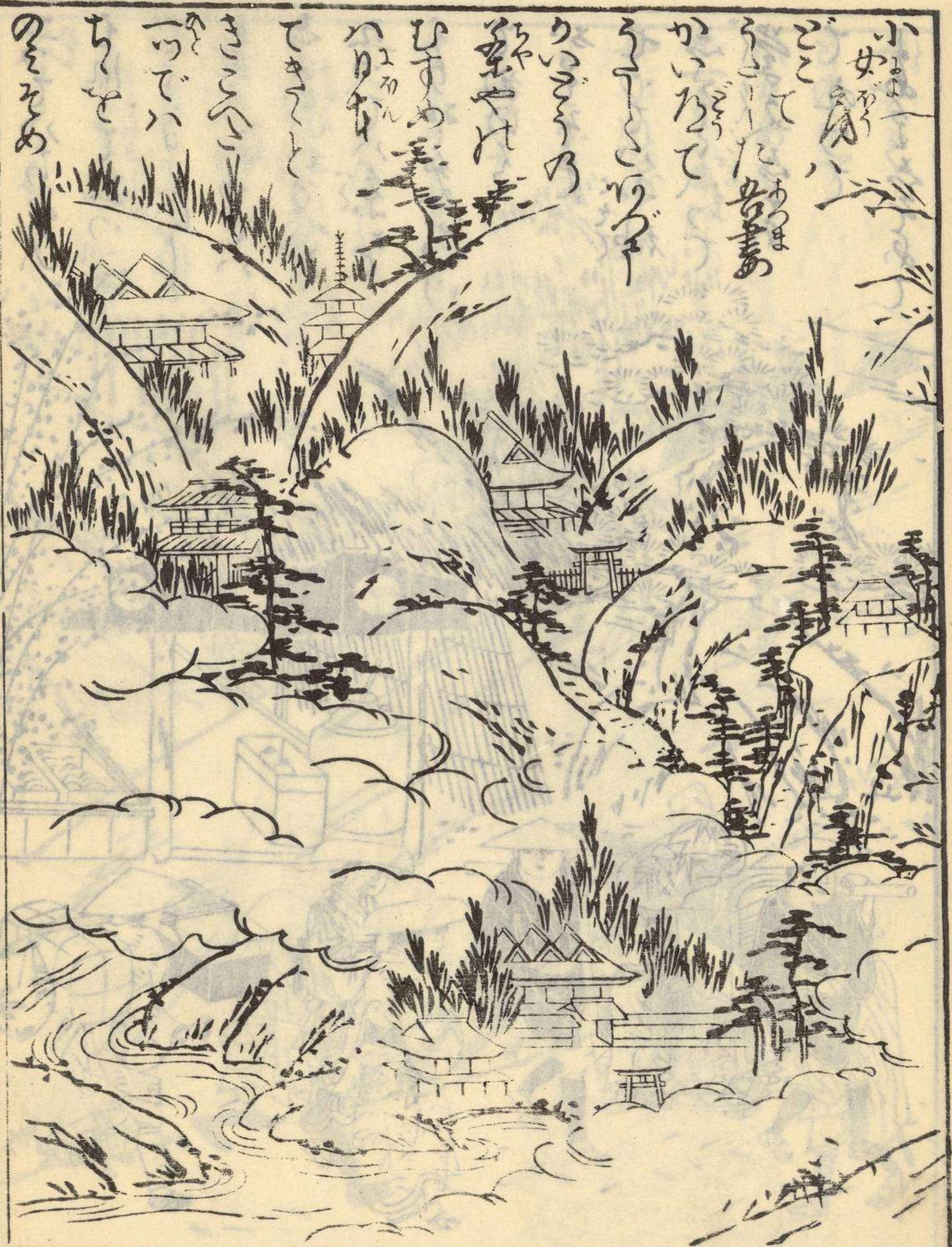
の東





○むよととよす
くまのさとよ
神威をもすが
かどよみゆきまつ
かさひら
物すかと
すそとめの
ひめ





二つともあらび
もれと三つ
でよき
さあはなつて、
あよきあがく
五つては魚を
うりあわすあり
てぬのま
かまくられ
せつてハ小袖
あくまへつて
まよえあわ
てれりて
よあまくらみて

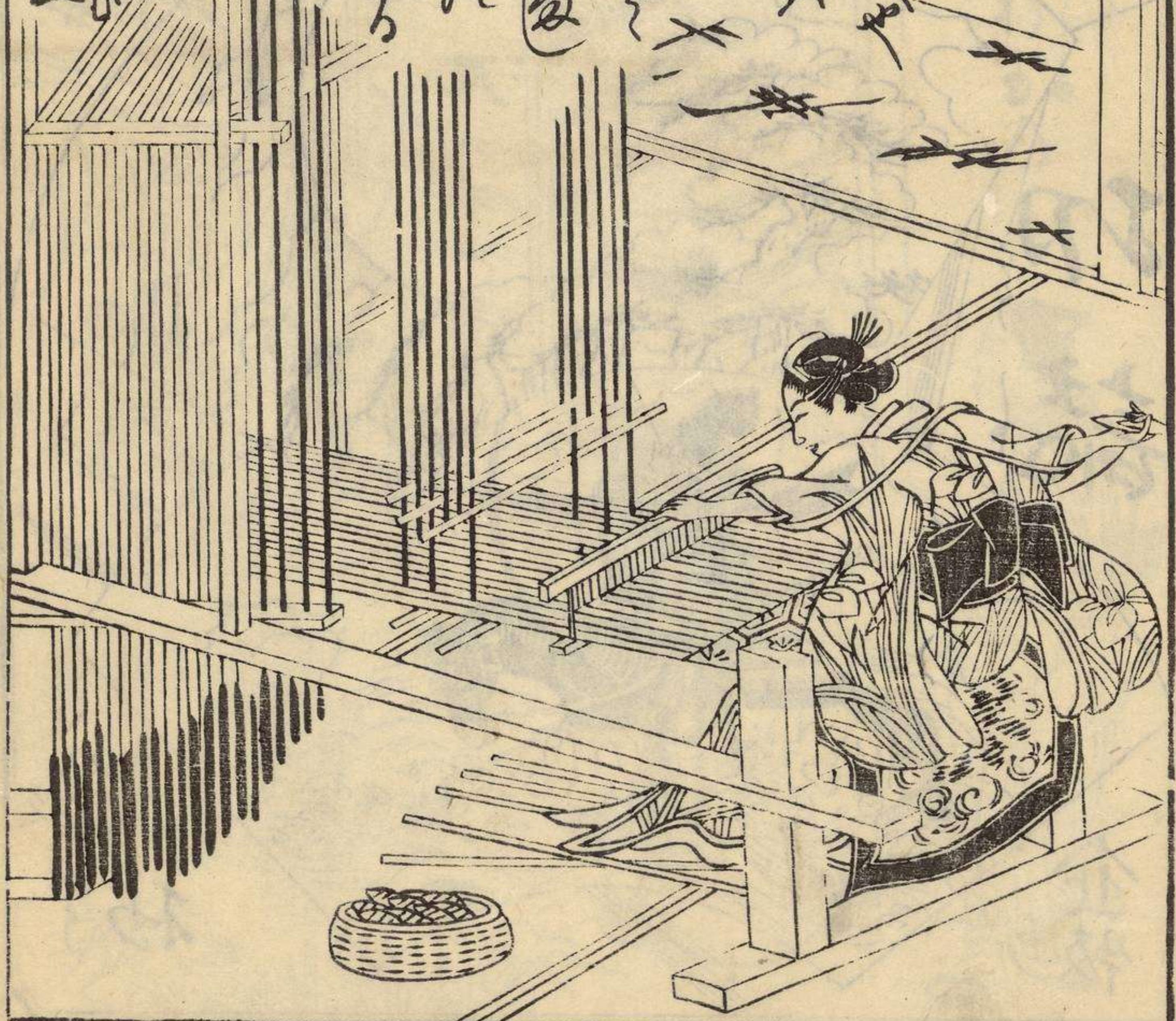




今よへやどりう
をかゑの旅と
ゆきえりなり
あまふるひのひま
ナヨウて子とく
どうやあに男子
木葉やすれど
ざれむさんせんざる
子よあけても前
ひとあざればなり
かよたまとのよたと
すまよほれいと
りのゆよひひごと
れよかへりあらひを



不めうとくぞくち
かきこさいよ、かまくら
まくねぎこすばくらき
なりかくよろきどもへ
漁かとふうかとふうへ
よあれ御殿を金
ゆまとじよあと人を
もぐりへごだぬうとく
やをもじものりあれ
く波が川へおぐきくろ
ひがみよまよま
まくねくろたとく
おのとどもれども
絆みのうくこよ止





ほきや年あけ

がまくらを

おとことより

むよりひづる

歌詞とのゆ

のうの

一月

金

送

旅



伊勢守を支姫

高代

の

おまけ入院

院

はととく

ひづりよ

笠のかま

と

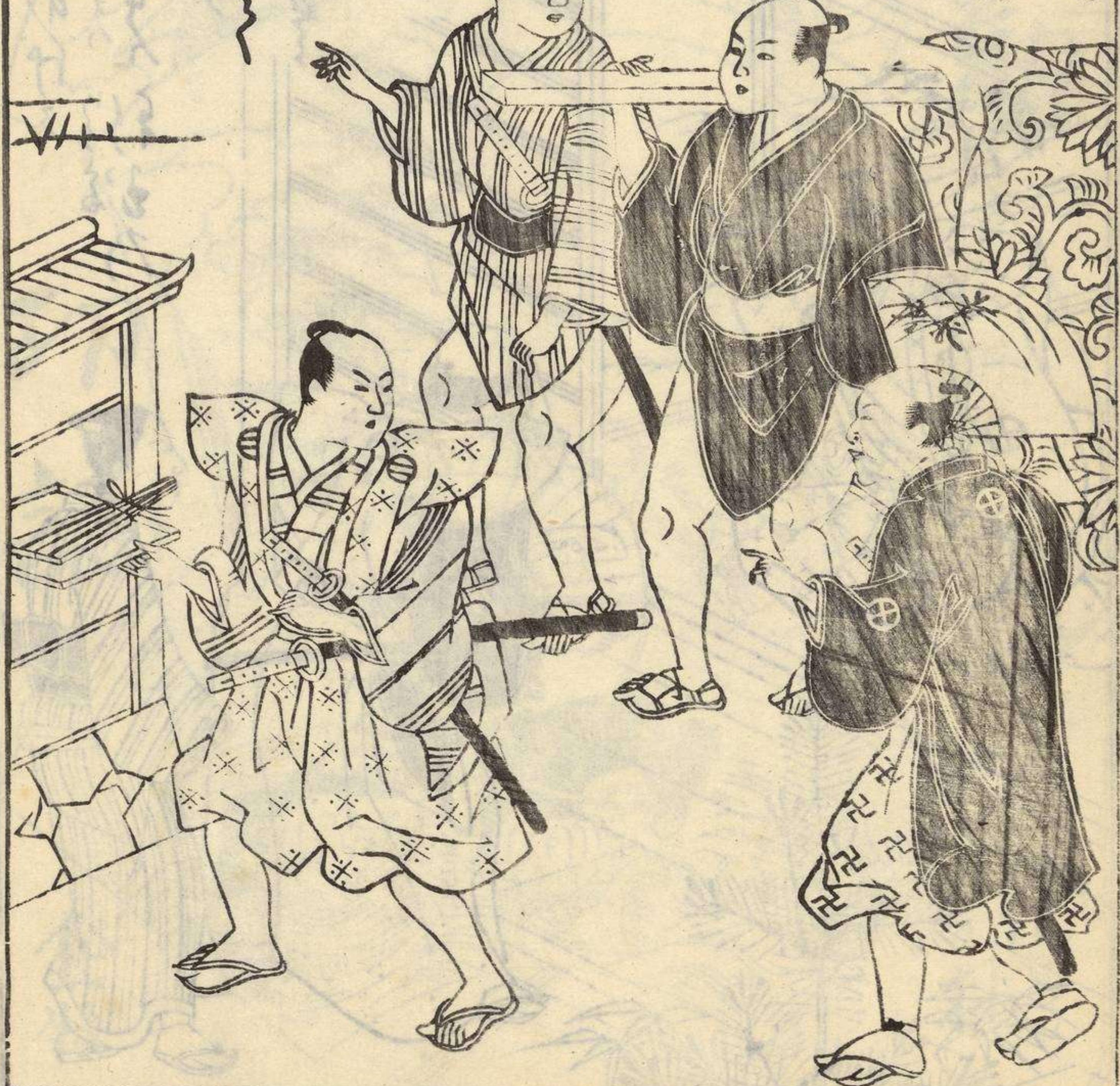
木子

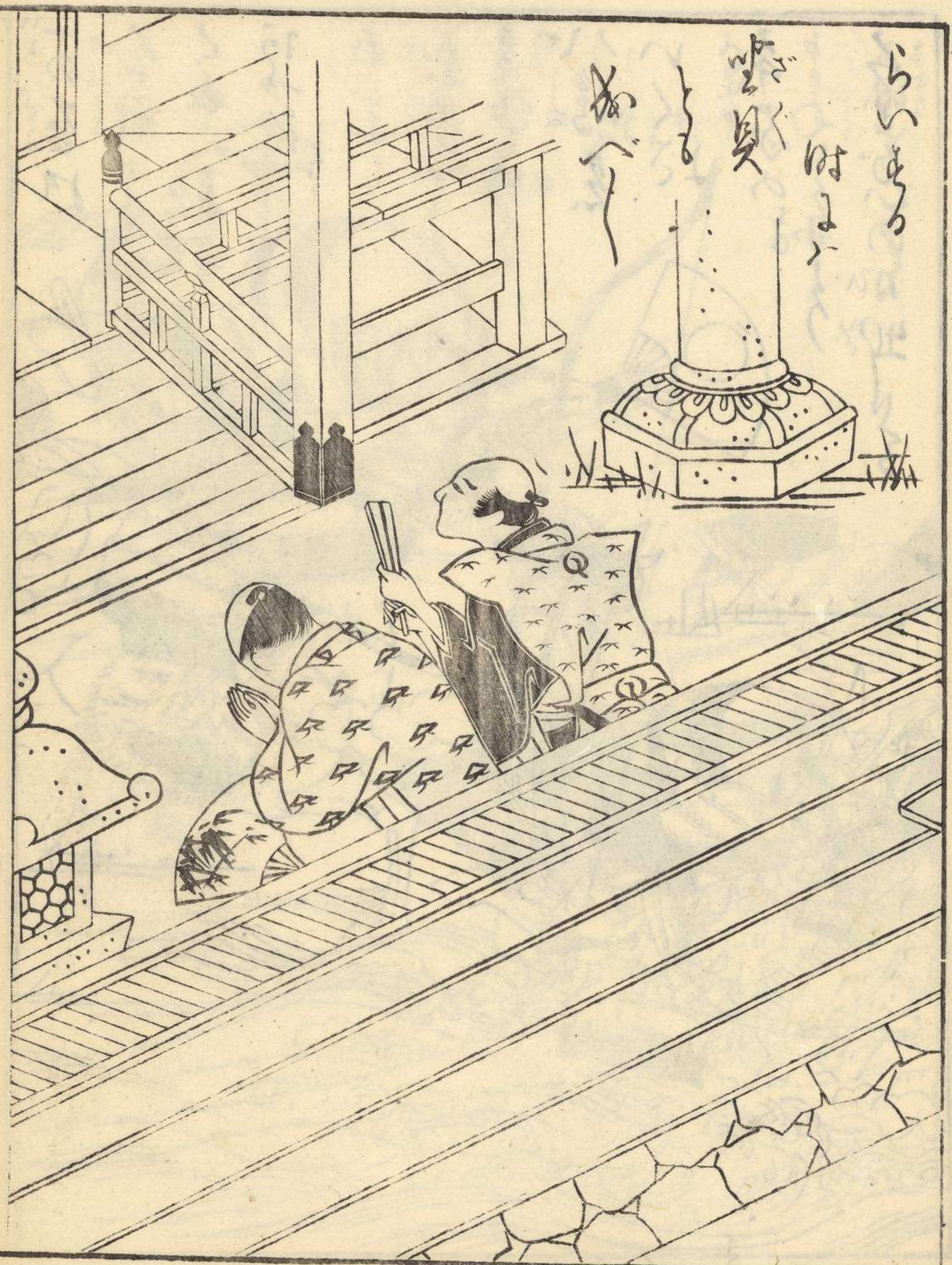
まくら

のよとくわらへ

御中

かくやと

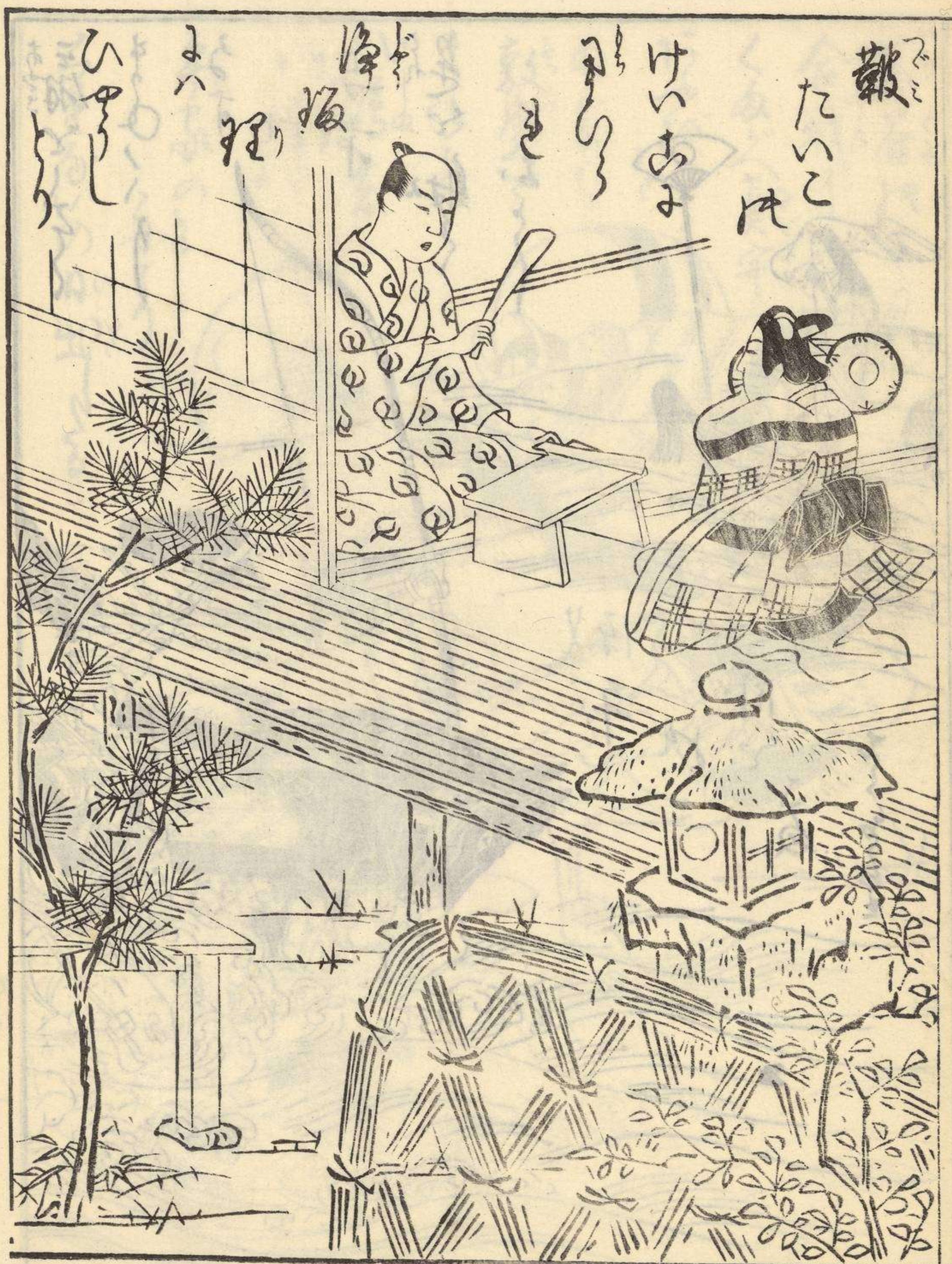




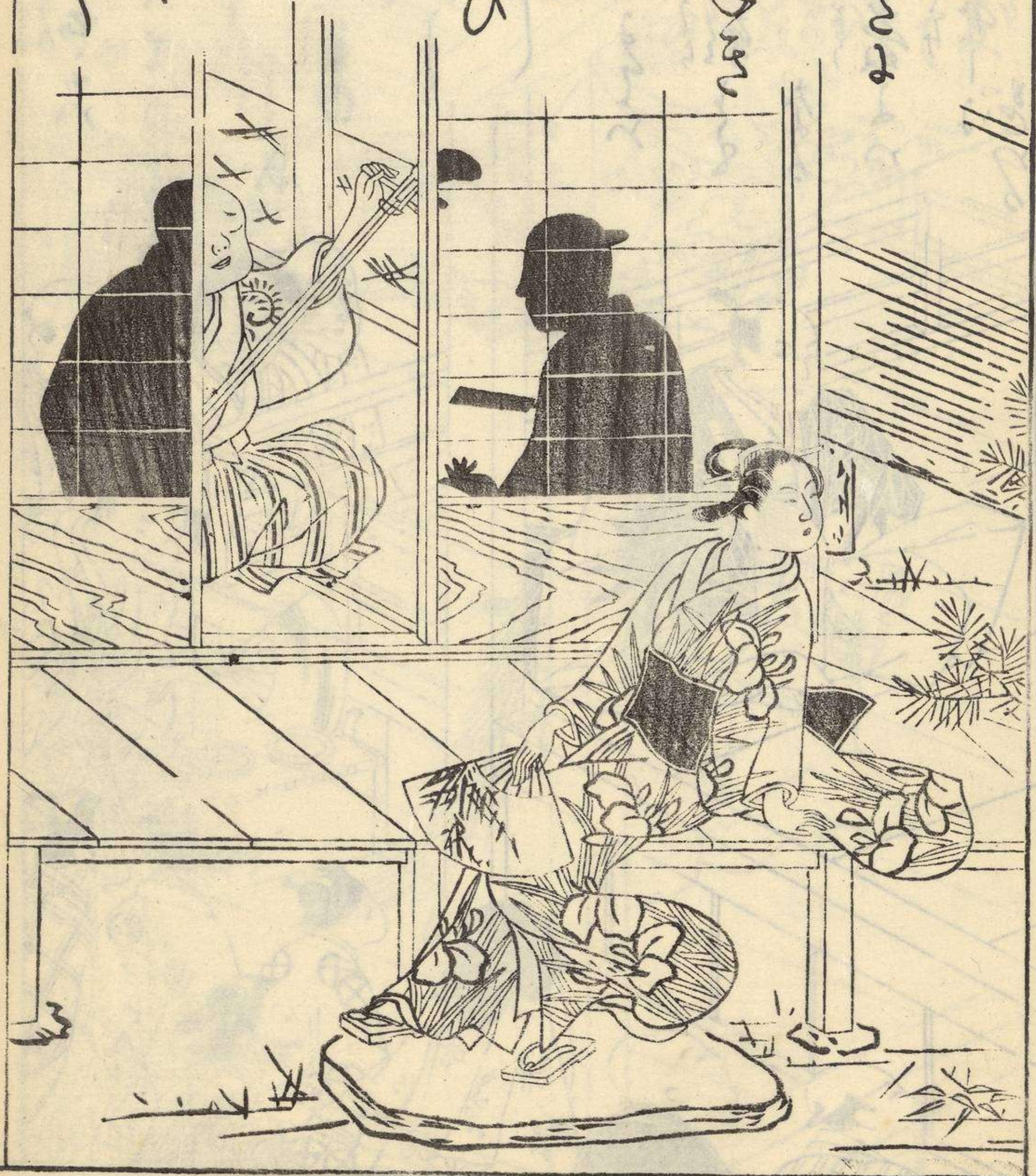
一の合戦
くゑび（真室）
りゆくと
あぶて
鼓盛と
いふよ
ハ勝ち
いくよ
平家のみ
くゑびのりゆく







月夜
扇乃
及き
風を
まよひ
ぬと
ぬと
ぬと
ぬと





扇子發

因定

多事

事

事

事

事

事

事

事

事

事

事

事

事

事

九

吉

吉

吉

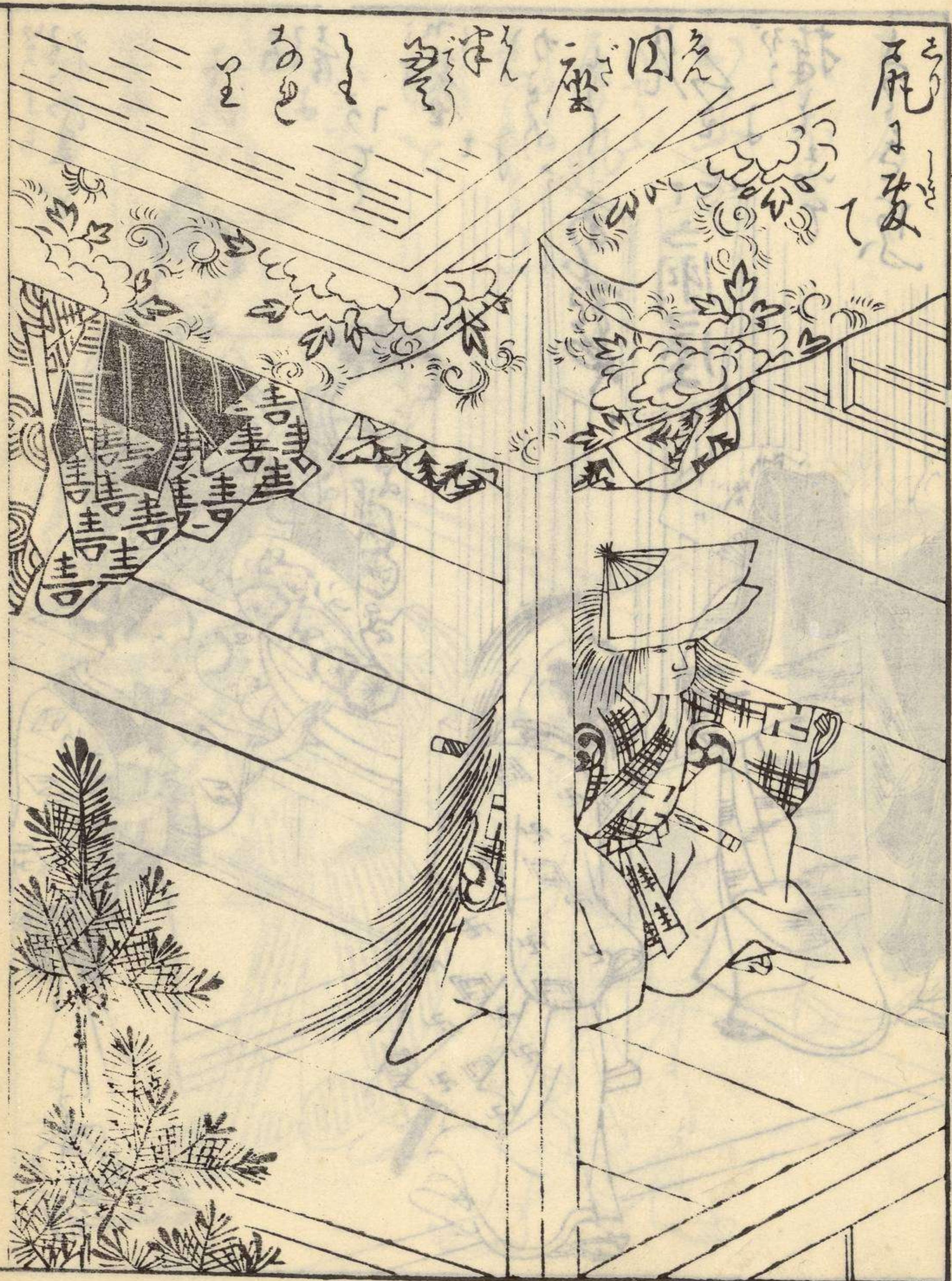
吉

吉

吉

吉

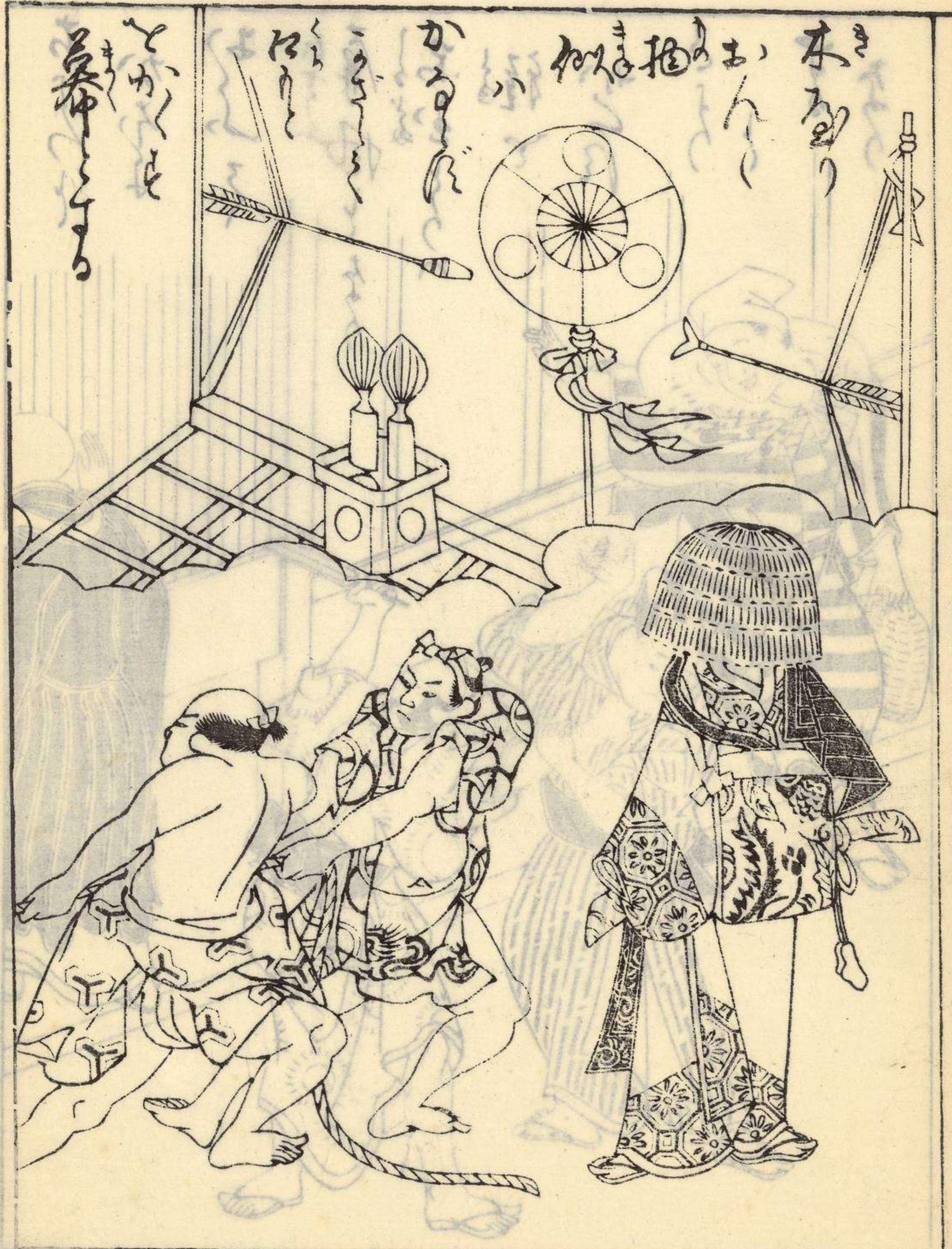
吉





ちよつと
かわよ
みゆき
原ゆかとまゆ
ふきとまゆ
経と
かく
とう
さる











長谷川光信画
本ちん繪

旅

の

旭

全





まきの
おとしの
力
銀
あん

花
あん



一
り
馬
よ
か
れ
人
根
尾
絆



播磨

たうさご
立あじ

芳根
のまつ



大和

ひまわり
見る山花





隱奥

あひま

松鷹

名所

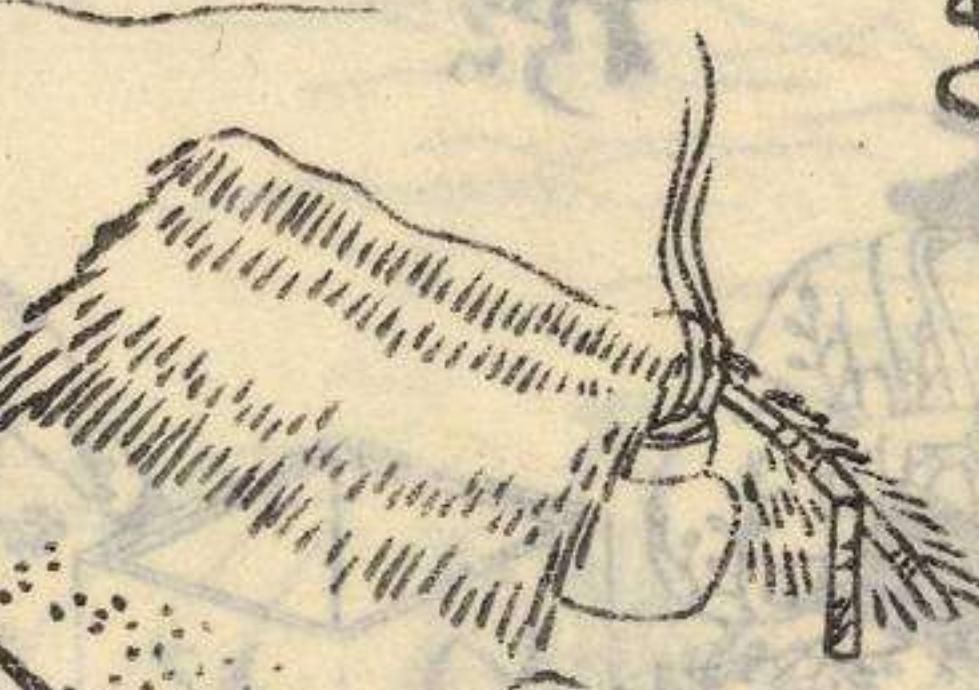
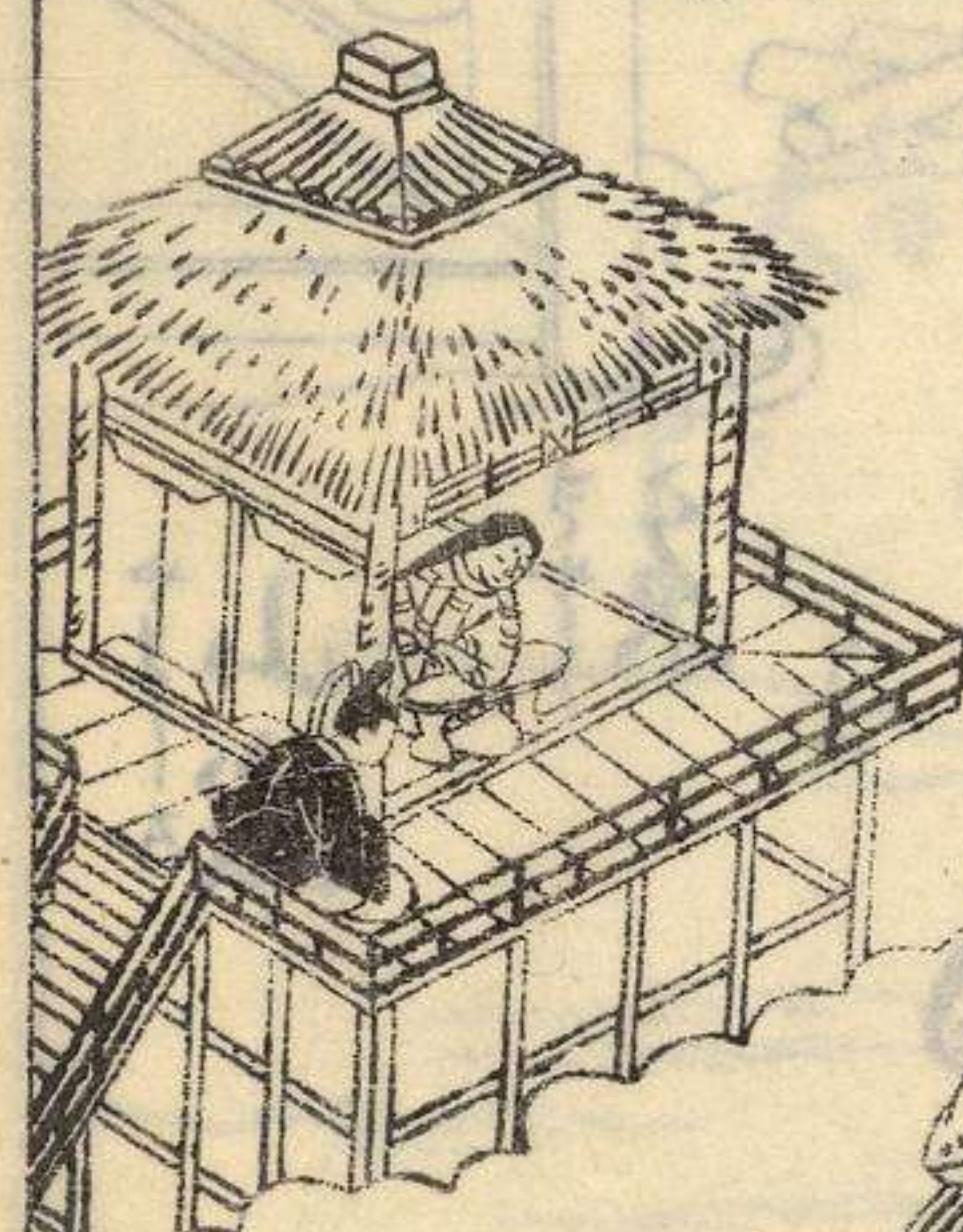
笠

らう北

新

海

山城





武
義

何
も
か
れ
ど
の
ぞ
く
戸
は

ぞ
れ
ぞ
戸
は

豊
後
大
な
市
い
ち
の
ま
る
モ
リ
ヤ
ド
リ
月
も
君
君





江戸あま橋

二子ふと

橋ひ

一本で

近江美濃

藤

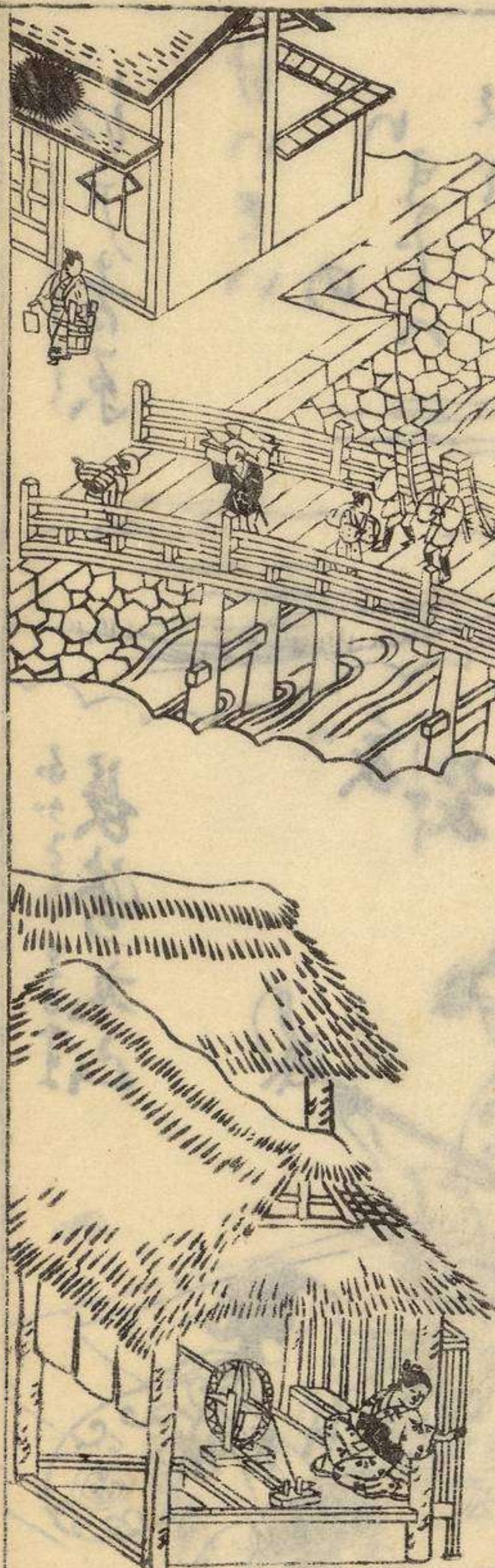
物

の

中

信是
美濃船

信是
近江舟



江戸音頭

長崎丸山

けいきの
ひそかに
面白い

丸山とえん





山誠
ヤマツヨロ

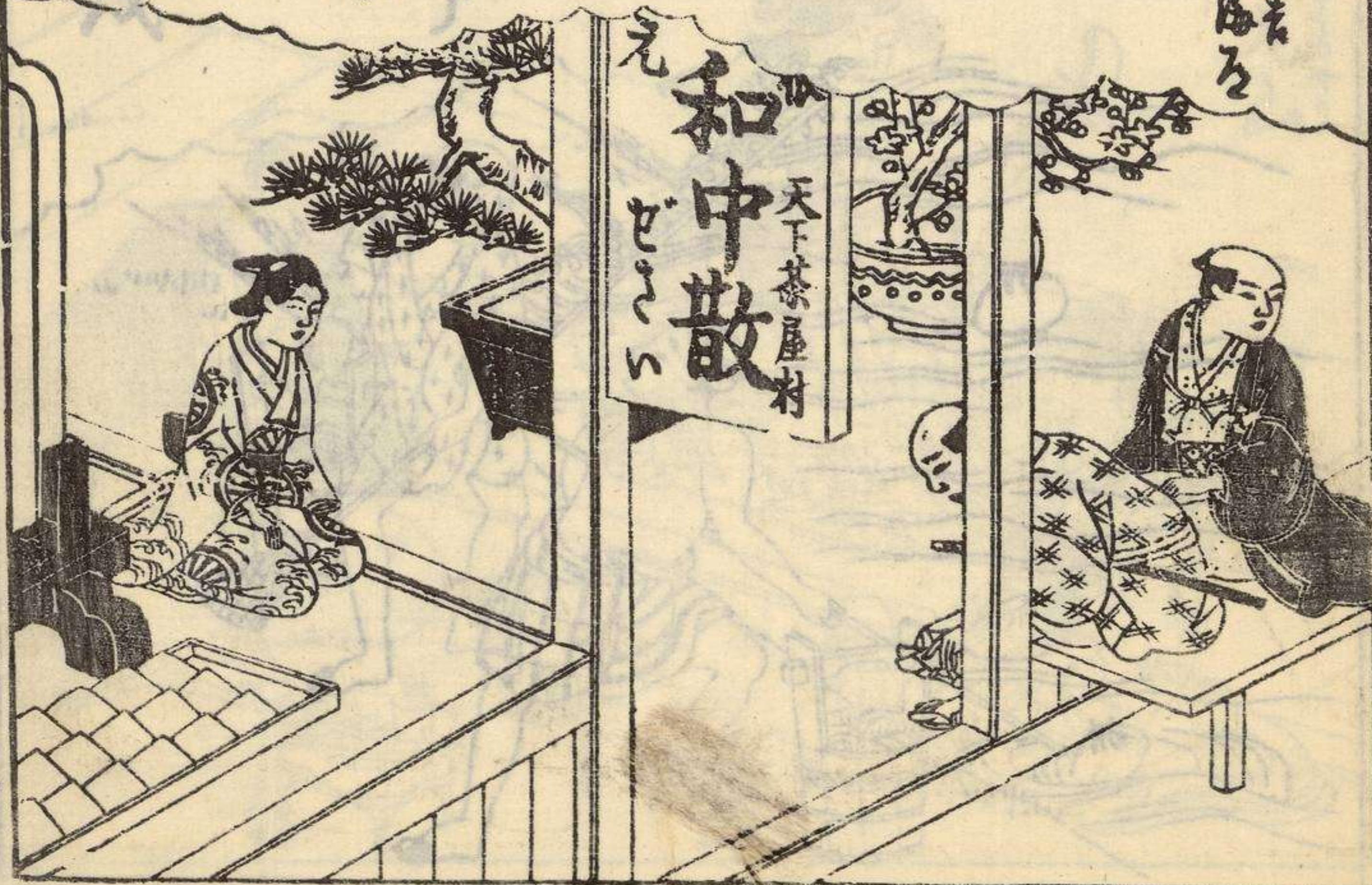
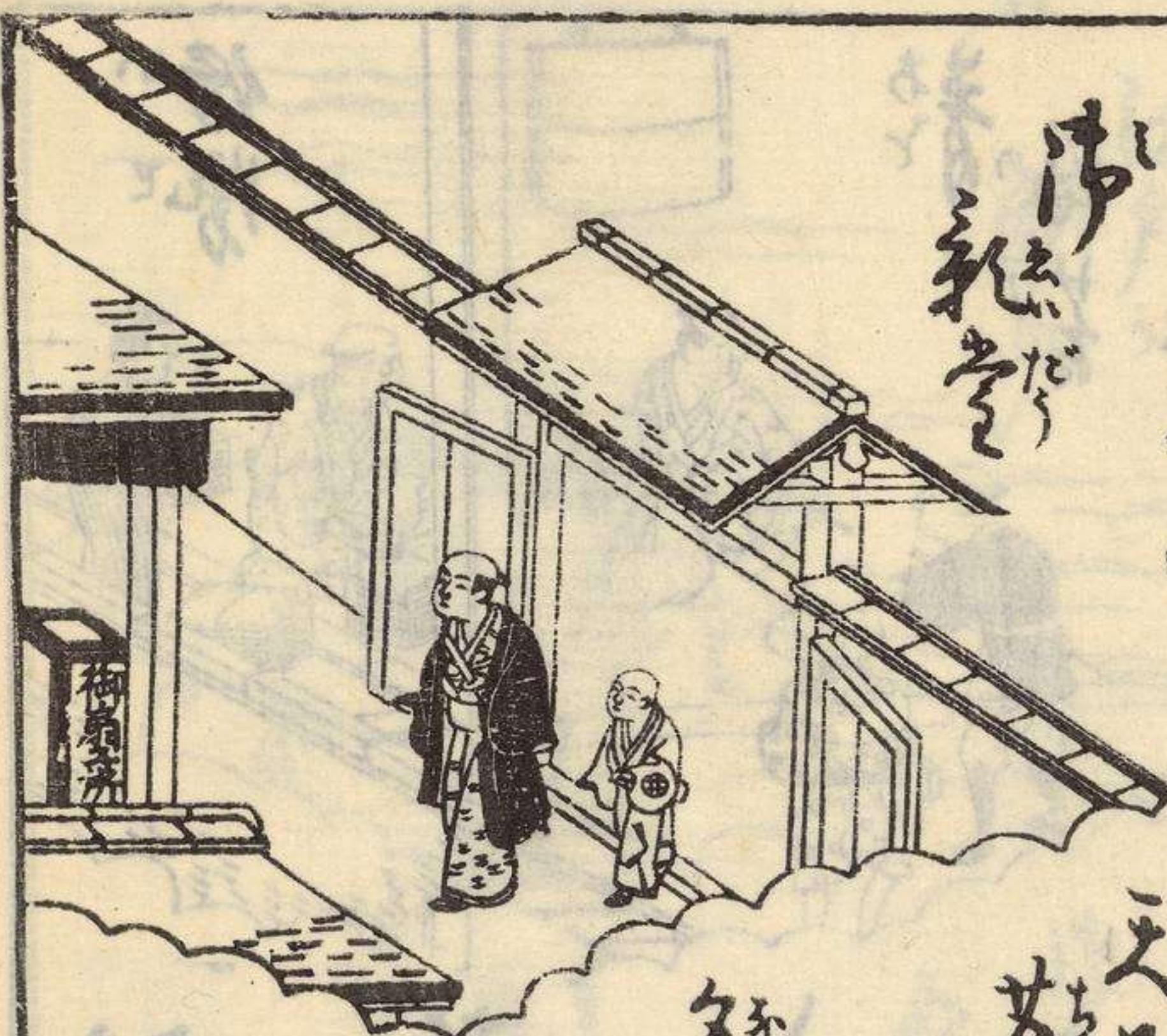
骨
ウカ
風
ウゲ
おと
オトコ

持津
ヒツ
佐
サ

天下
チヤ
茶屋
チャヤ
村
ムラ
和中散
ワカル
ゼイ

名
ナム
と
トコ

元下
モ
も
基
キヤ
屋
ヤ



博
もかと

きり代の
おと漆乃
大ひがち
大神ち



名
めの
と
や
と
そめ
京
きん
が
は

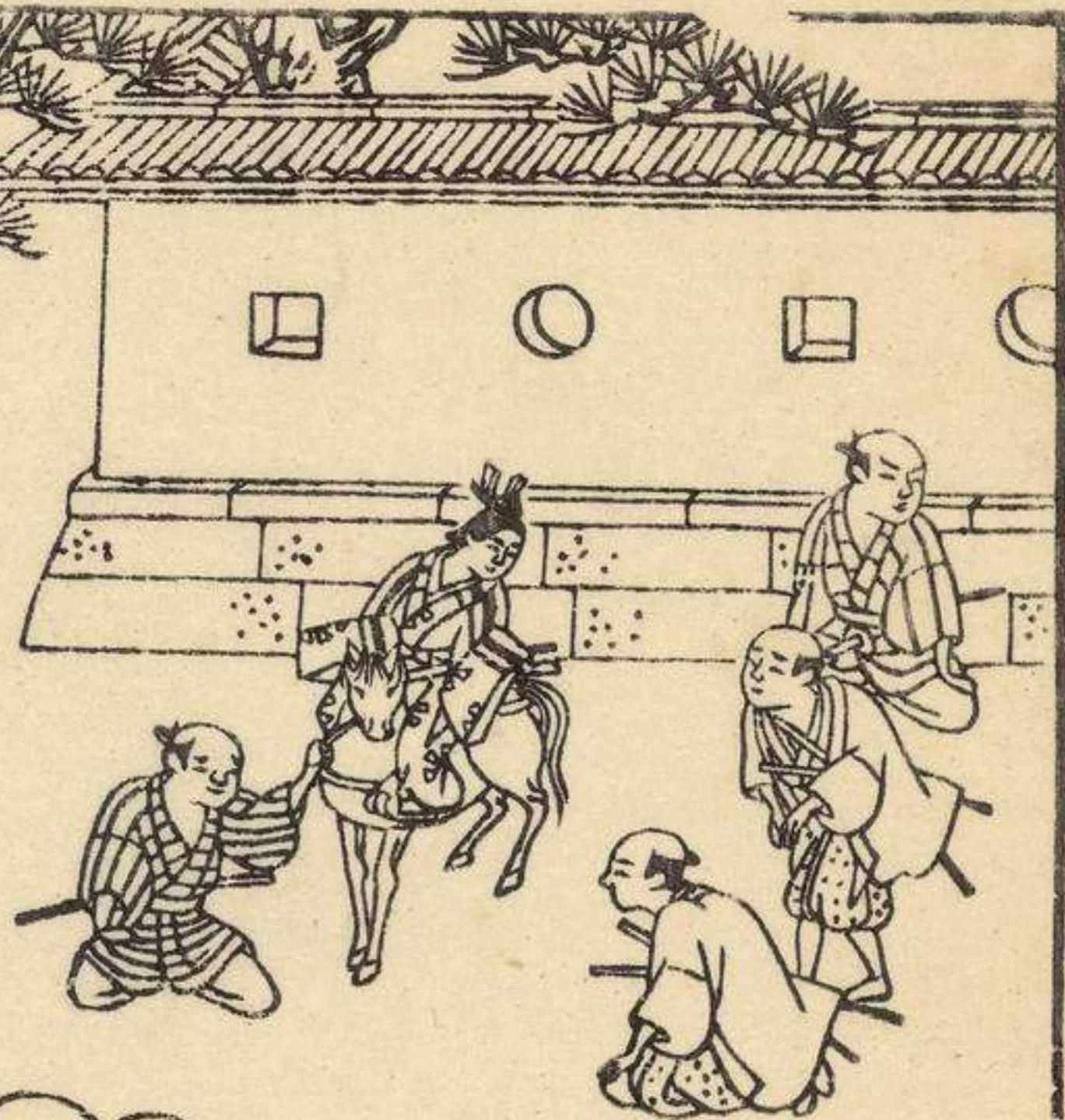




浮城
岩の巣

あざれ
の仕事
約主

古作

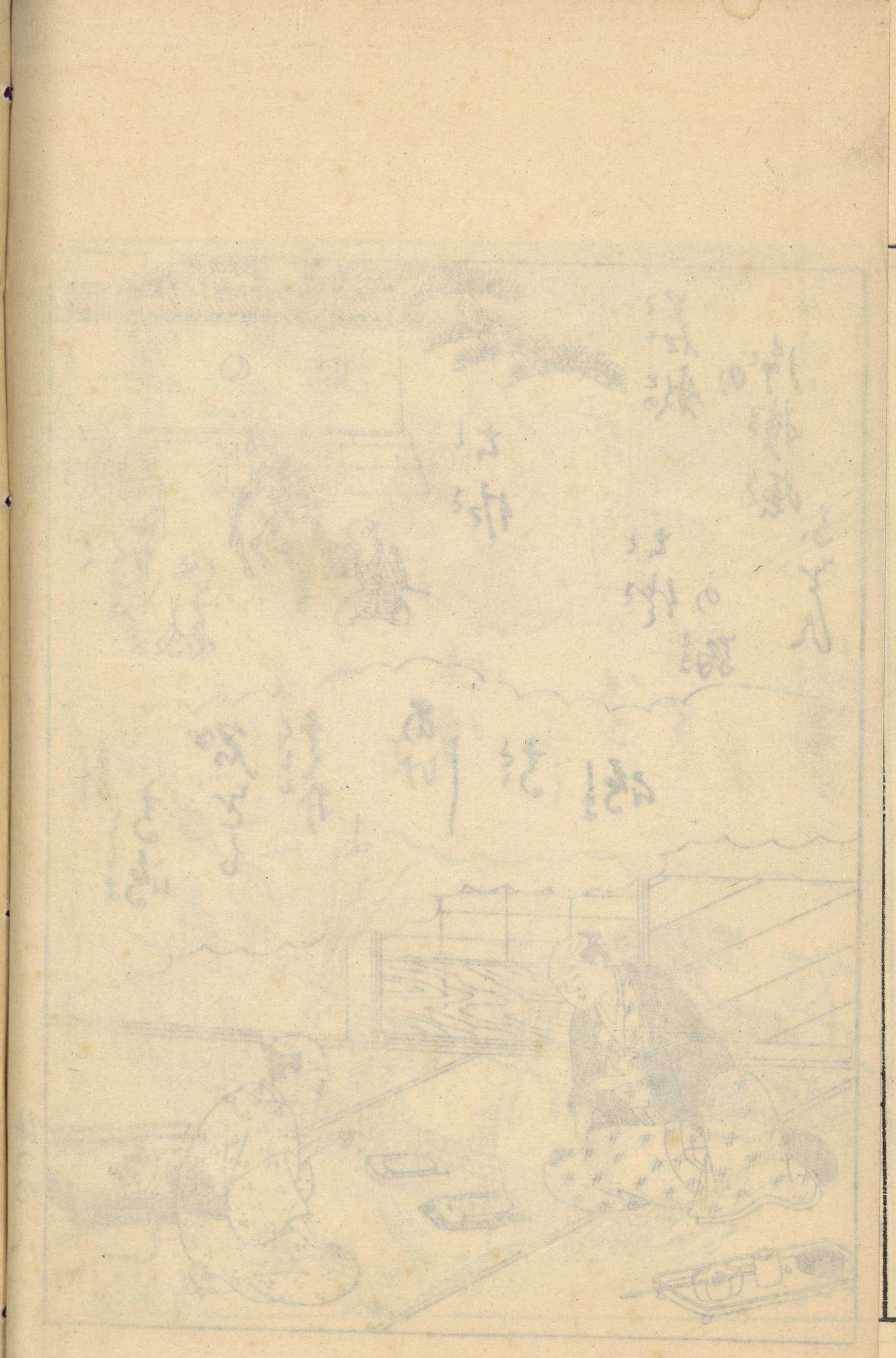


弓もまた | あけ

名をも
くわせ
よ



漢の文
ハ





明治三十六年六月一日再版印刷
明治三十六年六月八日再版發行

著作

著作者

山田直三郎

京都市上京區寺町通押小路北入

發行
印 刷 者

山田直三郎

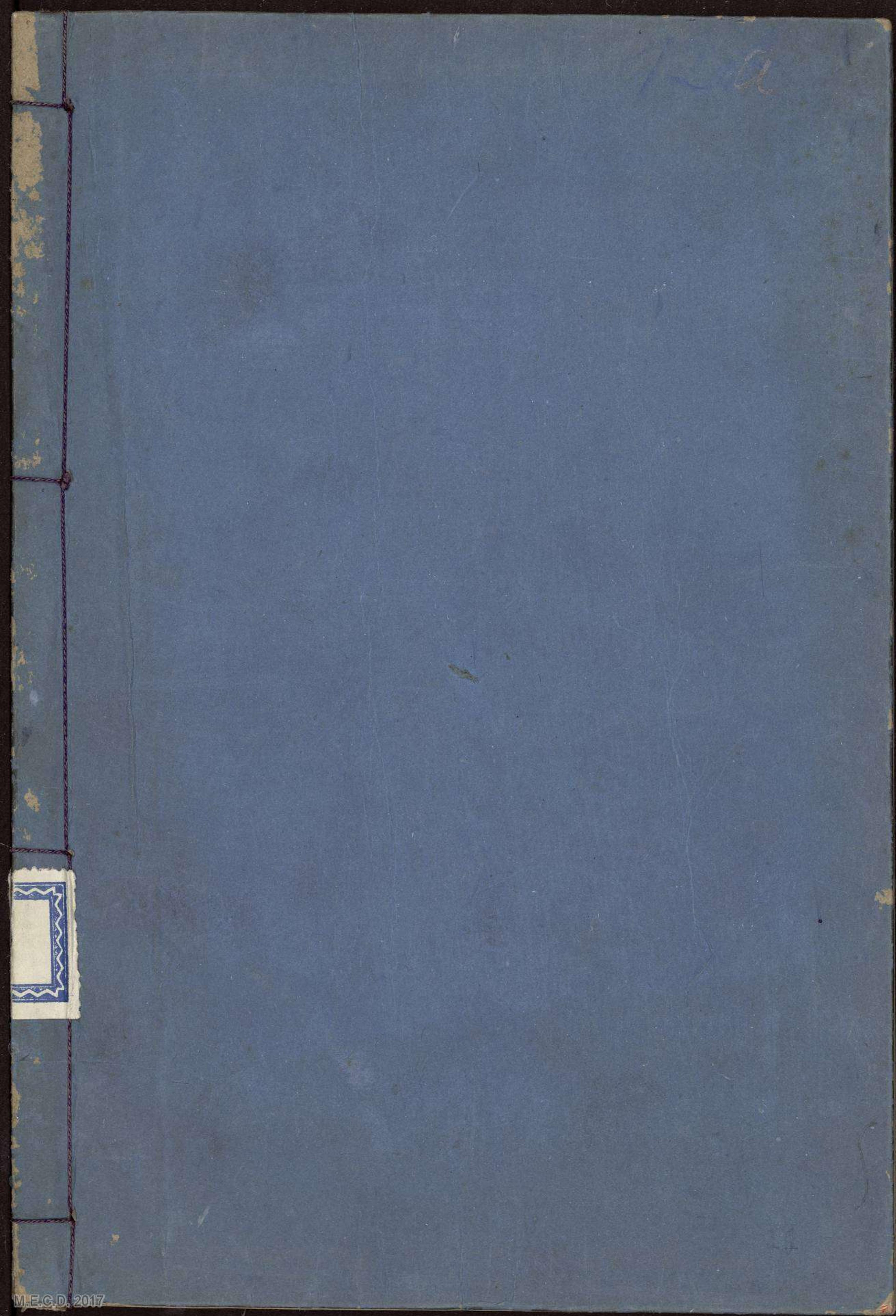
京都市上京區寺町通押小路北入

權 所

發行所

山田芸艸堂

特電話二九九九



M. E. C. D.